



《カラー作品》

長篇アニメーション

ルパン三世

「ルパン対

複製人間」

劇場用AR台本

製作 株式会社東京ムービー新社

配給 東宝株式会社

製

作

藤

岡

豊

原作

モンキー・パンチ

(週刊漫画アクション連載・双葉社刊)

脚本

大和屋 竺

監督

吉川 惣司

吉川 惣司

監 修

大塚 康 生

レイアウト

芝 山 努

作 監

梶 島 義 夫

青 木 悠 三

美術

阿部行夫

撮影

黒木敬七

録音

加藤敏

編集

相原義彰

音
樂

大
野
雄
二

選
曲

鈴
木
清
司

録音スタジオ

東北新社

現像

東京現像所

製作宣伝

P & M

製作補

片	郷
山	田
哲	三
生	朗

登場人物					
マモ	ルパン三世	峰不二子	次元大介	石川五右衛門	銭形警部
1					
西村晃	山田康雄	増山江威子	小林清志	井上真樹夫	納谷悟朗

警視總監	富田耕生
科学者	村越伊知郎
警官 A	宮下勝
警官 B	広瀬正志

フリンチ	飯塚昭三
山寺の住職	槐柳二
古本屋の親父	北村弘一
ゴードン	柴田秀勝
スタッキー特別補佐官	大平透
エジプト警察署長	三波春夫
大統領	赤塚不二夫
書記長	梶原一騎
職員	嶋俊介

カメラ	画	面
1	黒ベタからPAN・UP 細長いスリットが通過していく →PAN・UP 再び完全な黒ベタになる ドアのような戸がスリットと開いて 下半身が落ちてくる(スロー)	S・E (足音) ←
2	落ちるシルエット スロー気味 ロープがピンと張って	
3	ルバン— ブラーンとゆれる(T・B)	
4	仏像のUP 朝日が射しこんでくる(F・I)	S・E (梵鐘) 読経の音がきこえてくる ←
5	寺の本堂・居並ぶ仏像	
6	高級乗用車から →PAN・UP	

21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	
マキを割る銭形	インサート	T・U	マキを割る	銭形、オノを取って	顔上げる銭形	総監、止る	総監、前に出て	総監 タキギごし	タキギや俵で部屋いっぱい	窓の外に総監 Fr・in ←PAN 板戸を開ける	木もれ陽の中に板ぶき小屋	総監、一礼して歩き出す	総監	FOLLOW	石段を二人の影が登っていく
					総監 「銭形くん!!」	銭形 「私は戻りません!」	総監 「……」 「ず……ずいぶん捜したよ」						住職 「何かある……とは思うとりました。 あの寺男はんには……」 総監 「はあ……」	総監 「実はまだ私も半信半疑というところで……なにぶんコトがコトだけに失礼ながらお邪魔した次第です」	警視総監の声(off)「お勤めのところ大変申し訳 けありません……」

27	26	25	24	23	22
銭形 ゆらりと立ち上り手前へ	司法解剖	銭形、ふり向き	総監と銭形 銭形、叫ぶ	銭形 眼をとして――	カマドへ放り込む

銭形 「奴の死と共にすべてが終ったんです。なにもかも……」

総監 「私は、燃えつきた人間です……」

銭形 「その事だがな――」

総監 「帰って下さい！」

銭形 「IOPの情報では……」

総監 「もう沢山だ！」

銭形 「ルバンは生きておる！」

総監 「クッククク……」

銭形 「ウワッハハハ……」

総監 「そんなにまで私を戻したいんですか！このボンコッを?!」

銭形 「お忘れですか鑑識課始って以来のあの徹した司法解剖を！」

銭形 「血液・指紋・過去のあらゆる内臓疾患……」

銭形 「整形手術跡の有無」

33	32	31	30	29	28
放心の銭形に総監 (T・U)	モノクロの写真	署長、銭形の顔面に写真を出す―― 銭形、手にとってみる		ルバン細胞検査場面	欠

放射線やコンピューターを駆使して

銭形 「な……なんです？」

総監 「ご覧の通りさ」

銭形 「IOPの職員が情報に基きルーマニアの駅で撮影したものだ。それも三日前にね！」

総監 「そこに写っている男が誰であるにせよ君がこの事実を見過しておくわけにはいかんと思うがね」

銭形 「あああ……」

銭形 「その結果は……」

銭形 「完全だった！ルバンは死んだまがいなく死んだんだ！」

銭形 「ヒッヒヒヒヒ……」

	52	51	50B	50	49	48	47	46
		T・U 稲光りで銭形の影が入る	ドアが開いて、銭形	銭形↓階段を降りてくる	階段	黒ベタから 稲妻で手前のクモの巣が光る ライトに↓コウモリが乱れ飛ぶ	ワーゲン↓森から手前へ フルスビード ドラキュラ城が見えてくる	大粒の雨 銭形
								銭形 (M) 「ルパン! ルパン!」

45	44	43	42 ~ 39	38	37	36	35	34	
走るワーゲン FOLLOW	稲妻	ジャンボ機—— (T・B)	欠		銭形、階段逆落としに降りる	警官、とばしながら	銭形、転げ落ちてきて—— 総監——	銭形、小屋から急速T・B トビラ破って飛び出る	最後、目をつぶるまで
					銭形 「ああああ……」	銭形 「ああああ……」	総監 「銭形くん?!」	銭形 「ぎゃあああ……!」	あああ あ~~~~っ——

67A	66	65	64	63	62	61	60	59
コートがバタつく	銭形、かけ登ってきて—— 手前で立ち止る	←	銭形、階段をかける	銭形、棒切れをつかみ殴りつける	ルパン、一寸怒って——	銭形、そろりと前進しながら	ルパン	銭形、驚きの声
	銭形「うっ……」			銭形「そいつを確かめにきたんだ！」	ルパン「簡単に言うな！　じゃあ俺はどうなるんだ?!」	銭形「奴は確かに本物のルパンだった……それは断言できる」	ルパン「らしいな……で、俺も参ってんのよ……」	銭形「ルパン?!」 「ルパン?!」 き、貴様は死んだんだぞ！」

58B	58	57B	57	56	55	54	53C	53B	53A
ルパン	銭形、眼をギューッと閉じてから	ルパン	銭形、石をどけてギョッとする	爆発	FOLLOW	銭形、クイをふり上げ	イナズマの光に二回位光る	フタを持ち上げる銭形	銭形、フタに手をかける
ルパン「相変らず殺気立ってやんなとっつあん」	銭形「あ、あああ……」		ルパン（off）「クッククク……」	S・E（ドカーン）		銭形「ワーッハハ……、ルパン！　ドラキュラにあやかかって永遠の生命を手にしようにってわけか！ だが物事には、限りってもんがあるんだ」			

81	80	79	78	77	76	75	74		73B	73A	72	71	70	69	68	67B	
FOLLOW	ナツメヤシの道路 ジープ走って来る	地平線をジープが横切っていく	メインタイトル 『ルパン三世』			銭形、走ってきて 撃つ				銭形	(T・U) 銭形、笑って――	銭形、追いかける	コウモリの舞い飛ぶ中へ	空中へ	ルパン、ハングラライダーに乗り飛び出す	銭形	コウモリが巨大なカタバルトにセ ットされてある ルパン、柄のボタンをけると羽根 が開きハングラライダーになる
				S・E (ガーン)	S・E (ガーン)	S・E (ガーン)		死なん！ こうなったら終りはないぞ―― 地獄の底までつきあってやる、貴様の骨 にこの手で戒名を刻んでやるぞーっ	銭形 「生きてやがった……生きてやがったんだ！」 ワッハハハ――貴様か死なんなら俺も	銭形 「奴は……奴は……奴も本物だ！」	ルパン 「ははは……達者でな――」				ルパン 「とっつあん、その話はあとでじっくり聞かせて貰う！」	銭形 「あ、ああ……」	

93	92	91	90	89	88	87
ルパン、次元を見て	←	二人ともハァハァしている	光の点がスーッと消える	銭形、のりだして	ギョッとする銭形	テントの中 銭形、近づいてきて
ルパン「ふ、触れたかな？」			銭形「みなさい！ 反応があった——」 警官「ネズミかも……しれません」	S・E (ピーッ)	銭形「ルパンめは我々の知らない何かを狙っ とるんです……ありふれた宝なんかでは ない……」	銭形「如何です？」 警官「異常ありません」 署長「フフ、これ以上の警備は望めませんぞ ——中の模造宝石のためにはね」 銭形「そんなこた判っとります！」

86	85	84	83	82	
テレビレター (T・B) カットいっぱい	P A N	ジトブ奥へ ピラミッドがせり上ってくる	署長 写真をひったくり、ポケットに入 れて	二人、写真を見ながら	銭形、署長 シープの中で
S・E (ブーン)			署長 「お次は山がエジプトというわけですか……しかし、奴が入国したからって必ずしも……」	銭形 「第一に、北京故宮博物院より始皇帝の遺物と伝わる仙薬……」 「第二にドラキュラ城に残る薬草マンドラブラの根……」	署長 「ほう、貴方が活動を中断している間に……？」
			銭形 「ファラオの墓に決ったります！」 「今、私の第六感ハサエにサエとるんです！」		

94	ルバン、前をむいて眼鏡をおろす	次元 「やばい、急ごう」
95	赤外線が浮かびあがる	S・F (スイッチの音↓カチッ……)
96	次元、パイプを一本とりだし はめこむ ←	ルバン 「手前……八十センチ」 次元 「O・K」
97		次元 (off) 「ルバン……」
98	ルバン、止る——	ルバン 「ン……？」 次元 「例の件どうなった？」 ルバン 「それがな——」
99	トライポッドを おろす	「処刑された俺ってのは—— ← どうも本物らしいんだと」
100	接地する	
101	次元、くぐる	次元 「いだけねえ話だな……」

102	ルバン	ルバン 「俺もさ……なんだか本人じゃねえ気分 がしてきたよ—— ま、そのうちなんとかするさ」
103	前へ進む二人	
104	軍用車が止って——ドッと兵士達 が飛び出してくる	銭形 (off) 「第一班は、南側抗道だ！ 第二 班、および三班は北側通路をかためろ！」 署長 「ミスター銭形！ 貴方は一体何の権限 で……」 銭形 「私の第六感を信じなさい！」
105	銭形	銭形 「ルバンは必ず中にいる！ とつげき—— っ、突っ込め……っ！」
106	ポッとライトがつく	
107	スーッと滑る二人	
108	二人、立ち上る	S・E (ドスッ)
109	ルバン、次元	

119	118	117	116	115	114	113	112B	112	111	110	
署長、近寄りながら 銭形、署長にとびつく ややFOLLOW	ライトがつき、狙撃隊が詰めかける	銭形、走りながら叫ぶ	銭形、出てきて 左手へ FOLLOW	正面からライト浴びて急ブレーキ 二人、戻る——	疾走する二人 ややPAN UP	壁画——二人の影が立ち上る 二人、慌てて、ファラオの顔に寄って行く	二人、驚きの声	パイプがぐらりと傾く 二人、驚きの声	二人、石を見る	ルパン、石をつまみ出す	棺の下を手さぐり ルパン、ハットする のり出す次元 (間)
署長 銭形 署長 銭形	銭形	銭形	銭形	銭形		次元 ルパン 次元 S・B (ブザー) ← 「逃げろ！」 「こっちだ！」 「そっちはやばい」	次元 ルパン		次元 ルパン S・B (ギギギ……)		「……！」
署長「イヤー、貴方の第六感は当りましたな」	銭形「ライト点灯！」	銭形「ルパンは、こっちへくるぞーっ」	銭形「出口をふさげーっ、こことあっち！何をほやほやしとるーっ！」	銭形「カンネンしろ ルパン！この抗道は絶対にぬけられんぞ——」			「あ、ああ……！」				

134	133	132	131	130	129	128	127
バイクを斬る五右エ門	五右エ門 刀をつかんで	入口が近づく	(T・U) 五右エ門		(T・B)	次元の帽子 天井に解れてとぶ 次元、あわてて押える	ルバン、次元——身を低くして走る (FOLLOW)
S・B (ビュッビュッノ) ルバン 「わあああ……」					次元 「次元、お前さんもしつっこくクラシックだねえー、たまにはそいつをぬいだらどうだい」 「バカいえノ トレード・マークを簡単に変えられるか——」		

126	125	124	123	122	121	120
(バイクの見た眼)	署長、両手を上げながら Fr・in 銭形、署長をつきとばし	ライトが倒れ光条が壁に。 ——バイク、尻すべらせて (FOLLOW)	銭形、イッとふりむく 飛び出すバイク——ややスローに	ルバン、次元、バイク↓手前いっぱいまで	二人、もみあう↓二人同時にしゃべる	奥から走ってくるバイク
	署長 「うーっ、ルバンめー うてっ うてーッ」 銭形 「ワッハハ、ひっかかったなルバン それは、上へ通ずる一本道だぞー」		警官 「ル、ルバンですーっ」		署長 「許せんノ 内政干渉だ」 銭形 「ことルバンに関しては、我輩の……」	

151	150	149	148	147	146	145	144	143		142	141	140	139	138	137	136	135
銭形	銭形、四ッソ這いで	三人、車に乗りうつり走り去る	銭形、落とし穴に落ちる	三人を銭形が追いかけている	ルパン、銭形を見ながら	FOLLOW 四人の疾走	銭形、上を見ながら全力疾走	五右エ門、後を追う	イクでわたっていく	ルパン 次元、張った綱の上を	銭形、慌てて 銭形、ダーッと走る			手前の兵隊、登ってから 銭形 Fr・in 砂にうめこんであったロープ ピラミッド上方割れ目からピンと張り出す	ルパン	五右エ門 三人、手前をのぞきこむ	空転するタイヤ。 ホイールだけになる
	銭形 「ル……ルパンノ」	ルパン 「ハハハ……ほんじや達者でな——」 S・E (プロロオ——) 銭形 「ルバーンノ」			ルパン 「とっつあん、急激な運動は、身体に悪 ぜ」 銭形 「待て——」						銭形 「ややや……し、しまったあ」			銭形 「ルパン、そこを動くな！ 逃げ場はないんだ！」	ルパン (off) 「オッホー、きたきた！」	五右エ門 「急ぐのだ」	ルパン 「五右エ門、おどかすない！」
														銭形 「うっ……?!」			

165	164	163	162	161	160	159	158	157	156	155B	155A	154	153	152
不二子、振り返りざま背後の壁	不二子、サッとハンドシャワーを取って	不二子	シャワーが止る	欠	不二子の手 不二子、気配をうかがうように視線をやる	観葉植物越し → P A N ・ U P	バスルームの不二子	割れたミラーに映る不二子	不二子の足	眠そうな顔	不二子、起きる	豪華ベッドの不二子	(窓ワクのUP) — 開く窓	フワッと飛び上って
S・E (ガチャーン)		不二子 「……………」			不二子 「教えて……貴方は誰……？ 私のためにこんなすてきなお屋敷を用意してくれるなんて……よほどのお金持ちなのね——」	声 (off) 「美しい……君はまさに美の女神だ……！」		不二子 「もっと眠りたかったのに……」 声 「君のおめかしは長いからね」 不二子 「ホホホ……」		声 「そうだよ、不二子」	不二子 「うーん……」 不二子 「時間なの？」	声 (off) 「不二子……不二子……起きなさい不二子……」	S・E (ボーン・ボーン・ボーン) と時計の音	銭形 「ルパンーっ、これくらいで銭形様が諦めると思ったら大間違いだぞ、おぼえていろーっ」

179	欠	178	本をもつルバン	177	欠	176	凱旋門・夜景（シャンゼリゼ通り）	175	街道	174B	不二子 U.P.	174A	街道を走る	173	街道へむかうハーレー	172	大邸宅	172B	木の繁み——サーッと切れる	172A	後部震動、タイヤスリップして走り出す
			ルバン「フージン」																		

171	170	169	168	167B	167A	166	
ハーレーのメーター類が一斉にビリつく	ジッパを閉める不二子	闇に——ポッとスポットライト、豪華な衣服 ライト移動↓レザーのつなぎを着ている不二子へ	割れたミラーに出て行く不二子が映っている	不二子（手前観葉植物）	バスタブに放り込まれるカメラ	割れたミラーの中からカメラ——不二子、カメラをねじり取る	（ミラー）を割る
S・E （プロローグ——！）	不二子「フッフ……わかったわ 仕事は仕事……お互いビジネスライクにね、誰かさん！」		声（off）「そのうち会えるよ、仕事が終わったらね……ハハハハハ——」	声（off）「ハハハ ハハハ ハハハ」			

190	189	188B	188A	187B	187A	186	
双眼鏡の視界—— バイク走って来て止る	ホデル・一室 次元と五右エ門 双眼鏡を覗く次元	双眼鏡をとる次元	次元の腕時計	← 聞いてゐる五右エ門	トランジスタラジオ	本下げる ルパン、ギクリッとする	
	五右エ門「来たな……」 次元「ああ……」					次元 「どこをほつつき歩いてやがった！ いぶん捜したぜ！」	次元（off）「ルパン！」 あるけれども……

185	184	183	182	181	180
品悪く笑うルパン	（T・U） 開かれた本、おびんづる様	親父、サッと一冊開いて ルパン、親父	開かれた本（竜安寺の石庭）	本屋の親父	欠
ルパン 「うししし……！ 参ったな！ どうも…… ま、これはこれなりにおもしろそうでは		親父 「ノンノン、そんなゲージツ的なもんで なく……なんちゅうかこう……」 「なーるほど、なーるほど タイプからしてこっちだと思っとりまし た」	親父 「石?! 結構——オリエンタルな御趣味 ですな—— こんなものは……？」	親父 「ムッシェ、どんな物をお捜しで？」 ルパン 「えー、その……ボク石に興味あって……」 ……」 親父 「結構——オリエンタルな御趣味 ですな—— こんなものは……？」	

	198	不二子 「お古いこと！」
	199	ルパン 「そのトゲの痛みもよろこびなり…… 愛すればこそ！」 不二子 「お芝居は沢山よ、それより取り引きを すませましょう」 ルパン 「キビシイねえ……。実際お前はとげが 多すぎるんだよなあ——」 不二子 「私、急ぐの！ それともルパン—— まさか……」 ルパン 「あせんなよ ホーラ」
小箱を開くルパン	200	
不二子、目を見開く	201	不二子 「……！」
不二子、箱を取ろうとする ルパン、すばやく引っこめる	202	不二子 「ああ……ルパン、やったのね！」
ルパン、不二子を見て	203	ルパン 「ヘーエ……熱のいれかたがまるで違う んだからもう…… つまんねえな、ああ、つまんねえ！ こいつにゃあずいぶん苦労したんだけど

197	196	195	194	193	192	191B	191A
ルバン、バラを持って	不二子	華麗な服装のルバン	不二子	壁のはしからバラが出ている	手前へ三歩ほど進む—— いきなりバラの花が Fr in	不二子	不二子、バイクを降りて歩き出す
ルバン	不二子	ルバン	不二子	ルバン (off) 「きれいだぜ、不二子」	不二子 「あ………！ ルバン………？ ルバンね？………」		
「おお、かぐわしき花そなたはバラなり	「……… フフ………確かに変身ね、華麗かどうかは 判らないけれど」	「冗談ってのはないぜ……… バリの甘い夜風が非情な心をとかしたか ………俺、こよい華麗に変身したつもりな んだがなあ………」	「フフ………冗談はやめてルバン」				

234	233	232	231	230	229	228	227	226	225
雲が光る (雷)	フリンチ、ゆっくり手をあげる	十字架、吹きつける風	ビューッと風	フリンチ、手ゆっくり上る	フリンチ、箱を取りあげる	フリンチ	フリンチの手が伸びて ガッと肩を回す	木	不二子
声 (off) 「フフフ……ハッハッハッ……」							不二子 「ハッ……?!」	声 (off) 「まず石を確かめてさ いつものようにフリンチに手渡しなさい ……」	不二子 「どろってことないわ。ルパンは私にと って可愛いあやつり人形—— さあ、姿をみせて！ 私との約束を果し て頂だい」

224	223	222	221	220	219	218	217	
雲が微動	空ふかししてライト消す	十字架	森の中	FOLLOW・PAN	浅いT・U	次元、ダイヤル調節しながら—— 同調して——爆音が聞えてくる	ルパン腰おろしてセリフ ヘッドホンがFr・in (うけとる)	ルパン、タオルを肩にかけ二人に 近づく ムツッと五右エ門をみる
声 (off) 「こころりだったね不二子」		S・E (爆音近づく)				S・E 次元 「フン……全く大したオツムだぜ」	ルパン 「全く、つべこべとうるさいんだから—— これも計算のうちなんだヨォ——」	最初からとっつかまえていりゃこんな手 間はかけずにすむんだ」 五右エ門「ルパン、仕事と女の両立はできんぞ」

249	248	247	246	245	244	243
バリ・シャンゼリゼ通り	不二子の顔	不二子、フリンチの上に黒い影が おおいにかぶさる Fr・in	不二子	不二子、フリンチ 不二子	石の中から盗聴器がでる	ルパン
	声(off) 不二子 「私の名はマモーだ」 「マモー……?!」		声(off) 不二子 「君はもういい、あとは私がやる」 「私にだって意地があるわ。必ずとって くる!」それから名前だけでも教えて、 声(off) S・E 「ゴオーッ」	不二子 「気がつかなかったわ……もう一度とっ てくる!」 器だ 「はかられたな不二子……それは、盗聴 器だ」 ルパンらしい小細工だよ」	声(off) 「はかられたな不二子……それは、盗聴 器だ」	

242	241	240	239	238	237	236	235	
二人、悲鳴——倒れる	通信機がガタツク ランプメーターが激しく動く	ギョッとするフリンチ——光る	光る物体	不二子	ルパン、次元	浮かぶ物体	不二子	セリフ、途中からゆっくりセリ上 る
ルパン 次元 「ギャーッ」	S・E (ガァッ)			声(off) 「私の名は……」	ルパン 「ポリュームあげろ!」	声(off) 「よからう……君にはもうあかしていい 頃だ」	不二子 「貴方なの……?! 降りてきて! 姿をみせて!」	これこそ生命の源——人類が求めつづけ てきた永遠の夢……」

271	270	269	268	267	266	265	264	263	
次元、頭ポリポリかく	五右エ門、顔をそむける	ルバン	中世の銅版画	エジプト壁画風のイラスト	ルバン、次元、五右エ門、本をのぞき込む ルバン、拾い読み	ルバン、指さす	ルバン、ぐっとのぞきこむ	中世の銅版画	
次元 「ヘッヘ……不老不死か……」	五右エ門 「……………」	ルバン 「……………」	ルバン 「古来より錬金術師の求めてやまないこの伝説の石は…… 一説に、フェラオも所有したと伝わるほど起源が古く、別名、誕生の石とも呼ばれ永きに渡って人々の不死不老の夢をかきたててきた……」			次元 「卑金属を黄金や銀に変えるというあれか？」	ルバン 「……………」	ルバン 「……………」	「ぐらい捜せるだろ——絵くらいな……」

262	261	260	259	258～250
	次元	次元、ワイン飲んで ルバン、本の山から顔出して 本を置いて—— 数冊テーブルの上に置いて	テーブルの上、手前石コロ ワインを注ぐ（次元） ボトル置いて、グラス取る	欠
ルバン 「非協力的だねえーまったく……見かけは汚らしいがこいつには、何かあるに決ってたんだ、お前らだってこうやって絵	次元 「アイルランドなまりのイングリッシュなら俺にもできるんだがなあ——」	五右エ門 「アッタマくんなあ……人が苦勞している時によ—— 石に関する本を一晚かけて集めたんだぞ ちったあ手伝え——ほれ！」	次元 「カビ臭えだけさ、早いとこ渡して金に替えたほうがいい」 五右エ門 「かもしれない」 ルバン 「アッタマくんなあ……人が苦勞している時によ—— 石に関する本を一晚かけて集めたんだぞ ちったあ手伝え——ほれ！」	五右エ門（off） 「判らぬ……、粉華に木の根、はたまたこのような石コロ どうみても価値ある物とは思えぬ……」

288	287	286	285	284	283	282	281	280	279		278	277	276	275	274	273	272
壁にたたきつけられる老人 — シートが落ちる	空に舞うルパン	室内、ガラス破って飛びこむ	吹っどぶウエイター	男、ドドド……と後ずさりして、 手前へ叩きつけられる	吹っどぶ女	吹っ飛ぶ三人	ワイン割れる	上からはじける本の山	銃口が向いて、火を吐く	れる	ルパン、次元、五右エ門、飛ばさ	葉が舞う	本、ページがめくれる	ワインがとぶ	次元、ワインを口にやりながら 後ろから突風	五右エ門、立ち上る	ルパン

S・E (多重の音)



ルパン 「奏の始皇帝、ドラキュラ、ファラオ……と、いつもいぎたなく永生きしたが
……ってたやつらだ——でも不二子の奴、カ
ラスの足跡が気になる年でもねえだろう
なあ——」

五右エ門 「バカめ……そう信じておるのか——
賢者の石など単なる俗説！」

ルパン 「トイレ？」
五右エ門 「とてもつき合いきれん、帰る……」
ルパン 「五右エ門！」
次元 「ヘッヘヘ……」
S・E (ブワッッッ！) etc



309	308	307	306	305B	305	304	303	302	301
通行人がカベにへばりつく	ベント、露地へ飛び込む―― ヘリが急停止してぐーんと上昇	急ブレーキの対向車――	走るベント	機銃弾、ホーンを鳴す	バックミラーに映ってくるヘリ。 ミラー割れる	ベント、猛スピード、ヘリ追う	走るベント、手前へ、ヘリ	ベントが駐車している ルバン、次元、飛び乗り動く、 後ろからヘリ	ヘリ、上昇
				ルバン 「それも、タケダケレいのがな！」	次元 「やはり……不二子の裏に組織ありか――」				

300	299	298	297	296	295	294	293	292	291	290	289
ルバン、走り出す	木が倒れる	機銃が――いきなり止む	ビビル	グラスを踏む靴	木の幹がえぐれる	五右エ門	欠	男、手前から奥へ叩きつけられる	男の眼鏡が吹っ飛ぶ	落下する次元	転がる人々
←~~~~~											

324	323	322B	322A	321	320C	320B	320A	319	318
	ベント、右に左に蛇行	機銃 (FOLLOW)	ベント、奥へ逃げる、その間へリ回転して——急追プロペラが下水壁に当って火花を散らす	後車輪、水しぶきをけたてる	背後にへリがいきなり Fr・in		ベント、下水道へ飛び出る 手前へ汚水へネ飛ばして止る	ガタガタ震動 (ベント) (FOLLOW)	地下へ走り込む

317	316	315	314	313B	313	312	311	310B	310
ベント、古いビルの取り壊し現場へ走り込む	ブルトーズが動いている (T・U)	ベント	新聞スタンド——通行人などがベントの通過を眼で追う	ベント	ベントが通過、へリが空中で待っている——グリーンと上昇	通行人を吹っ飛ばして	バックする	ギアチェンジ	ベント、急ブレーキ
		次元 ルバン 「もう逃げ場はねえのと違うか」 「地の底にでももぐるさ」							

341	340	339	338	337	336	335	334B	334A
			マンボールのフタに車が吹っ飛ぶ	停車しているベントツ——吹き飛ばされる (FOLLOW)	爆発ガスが抗内を走る (FOLLOW)	へり、奥へ—— 五右エ門、着地 ——大爆発	ストップの五右エ門	五右エ門、へり、スレ違って (ストップモーション)
							五右エ門 (M) 「また、つまらぬモノを斬ったか……」	

333	332D	332C	332B	332	331	330	329	328	327	326	325
五右エ門、手前へ	刀	刀振りあげきったところ	五右エ門、刀、握むまで	五右エ門、スローモーション	五右エ門、ジャンプする	へり、手前へ	五右エ門	五右エ門、ベントツ スレ違う	五右エ門、PAN・UP	欠	ルバン
								ルバン 「ゴエモン、たのむぜ！」			ルバン 「むっ……」

347	346	345	344	343	342	
す 車、露地へ逃げ込み、急ブレーキ ——ルバン、不二子を引きずり出	車、フルスピードで Fr・in ——銃弾が追う out	ルバン、次元、五右エ門、車に飛 び乗る——一気にダッシュ—— 銃弾の雨	三人、一斉に Fr・out	手を出す 窓から狙撃者が見える 不二子、車のドアあけて——	ルバン、次元、五右エ門、マンホ ールから這い出す—— ミニが急停車する	手前へ落ちる
ルバン 「サァー、つきましたよ不二子ちゃん！」		不二子 「キャッ／＼……」	ルバン 「……！」	不二子 「だから言ったでしょう、ルバン！ 貴 方は、とんでもない人を敵に回してるの よ。さあ、早く石を渡して！」	ルバン 「ゲホッ、カッコ悪いな」 次元 「タダ者じゃねえぜ」	

354	353	352	351	350	349	348
ルバン	五右エ門	車内	車、郊外へのハイウェイへ	不二子 (T・U)	車、石段をかけ登っていく 銃弾が追う 不二子、ギリギリと立ち上って	ルバン 不二子残し、車発車する
ルバン 「ウルセーッ、巻き込まれたがってんの	五右エ門 「ほざくなルバン！ 女を巻き込むまい と情をかけたな」	次元 「バカ野郎、なぜトッ捕えて吐かせねえ？」 ルバン 「足手まといはごめんだからな——」		不二子 「ハ……！」	不二子 「俺のベントッを使ってくれ！ ちっと修 理が要るだろうがな——」 不二子 「ド、ドロボーッ！」	不二子 「キャーッ、なによ?!」 ルバン 「俺のベントッを使ってくれ！ ちっと修 理が要るだろうがな——」 不二子 「ド、ドロボーッ！」

364	363D	363C	363B	363A	362	361	
ミニの車内——			FOLLOW ←	車、バウンドして	奥へ ←	山岳地帯。PAN・DOWN 道路を車が横切っていく——ミニ、 手前へボーンとジャンプ——	——向こうに山なみ
次元「銭形のとつつあん△型かな？」 ルバン「○型だろうぜ——」							

360	359	358	357	356	355	
車、次々と奥へ吹っとんでいく、	走る車（上から） T・B	スピードメーター、グリーンと上っていく	ミニの車内、ルバン	銭形、運転手に—— （バトカーの中） 銭形、窓から身をのり出し叫ぶ	バトカー	は、ちゃんと後ろにきてんだよー
			ルバン「妙なりクツだな——ここで捕ったら、御先祖様に会わす顔がねえや」	銭形「ええい、もっとスピードは出んのですか、スピードは?!—— ルバン! どうせならアルセーヌルバンゆかりのこの地でお縄につけ! それが日仏親善のためでもあるんだ!」		

372C	372B	372A	371	370	369	368B	368	367C
銭形ギョツとする	巨大タイヤがバトカーの尻をこする。 ——バトカー二、三度逃れる	銭形、窓からトレーラーを見て	トレーラーの全望 (PAN DOWN)		トレーラーの車輪	PAN トレーラ下からせり上ってくる。	ふりむくルパン (T・U)	ルパン
銭形「あああ……? /」		銭形「さすがフランス警察。このでつかいのでルパンめを踏み潰そうというわけだな /」						

367B	367A	366	365
眼、あける五右エ門	口あける次元	バトカー FOLLOW	欠
		S・E (大音響)	

386D	386C	386B	386	385	384	383	382	381	380
車輪、猛回転、後部ふりながらド オッと走り出す	トレーラー、巨大タイヤ	ボロボロと石ころが落ちる	トレーラー後部	トレーラー、曲がりきれず尻がは みだす	ルパン、次元ふりむく	カーブを曲るミニとトレーラー	ルパン	カーブ	ミニを追うトレーラー (FOLLOW)

379	378	377	376	375	374	373	372D
銭形、落ちる車からドア開けて高 笑い	バドカー、ガケ下にまっさかさま	バトカー、バーンと吹つとばされ る	トレーラー、バトカーに寄つてく る	巨大タイヤ Fr・I	バトカー一台が消え、最後の一台 ガードレール側に逃げる	トレーラー奥へ走り去る	バトカー尻をまき込まれて バンノと Fr・O
銭形 「ワーッハハハ……なんという迫力ノ ルパン。こんな眼に会いたくなかつた ら大人しく捕れノ」				銭形 「ワーッ……、ちょっとモーレツすぎや せんですか!!」			

401	400	399	398	397	396	395
別れ道・トレーラー、ミニ別れる	激しい震動・次元、叫ぶ	車輪横からぬけでるミニ	車輪下のミニ	急激なエンジンブレーキ—— 次元、フロントガラスに貼りつく ミニ、トレーラー車輪下にもぐつ ていく	ギアチェンジする	ミニ車内、次元、タバコに火 をつける ルバン、ブワッとはかして
	次元 ルバン 「バカヤロー、どうする気だ」 「まかしとけ」			次元 「あぁー」		ルバン 次元 「次元」 「なんだ？」 ルバン 「俺にもくれ」 次元 「あいよ」

394	393	392	391	390	389	388	387	386E
トレーラー、ミニ、距離が縮まる (PAN)	ガードレールから道路に FOLLOW	ミニ、ガードレール上に片車輪の せ FOLLOW	ミニ	ミニ、バーンとはじかれる (スローモーション)	ミニ、ガードレールとタイヤには さまれてつぶれる——	トレーラー、タイヤごしミニ	トレーラー、せり上ってくる	車輪ごし、ミニが見えてくる

419	418	417	416	415	414	413	412	411B
軽飛行機	次元、肩で笑い出す ルパン、コワイ顔で笑う ——ルパン、倒れかかつてバカ 笑いはじめる	欠	ルパン、次元——ルパン、アゴ のしずくをぬぐう	湖、波紋	崖のルパン達。ゴォーッと水しぶ き	湖面に落ちるトレーラー ——すざましい水柱	崖下へ落ちていくトレーラー	みている三人
	次元 「クッククック……」 ルパン 「フフ……」 ルパン 「ワハハハ……」							

411	410	409	408	407	406	405	404	403	402
ガケフチのトレーラー見ているル パン——トレーラー落ちる	欠	タイヤ	(T・U) トレーラー、急ブレーキ	左右に木立が別れて湖になる		む トレーラー、木立を倒して突き進 む	ルパン、横からトレーラーみる	トレーラー、カーブする	バカ笑いのルパン、次元
									ルパン、次元「ウッヒヤヒヤヒヤ……」

431	430	429	428	427	426	425	424
ワインのボトルが埋まっている ——手が伸びて——グイッと	五右エ門、風に吹かれる	ドアだけが立っている ——ドア倒れる——	ドアのノブ T・B ドアに影が Fr・I 手がつかむ——開くと焼跡	セスナ、グリーンと去っていく	欠	フリンチ	セスナに乗っているフリンチ
						声 (off) フリンチ 「フフ……逃げられたな」 声 (off) フリンチ 「このゲームを続けたいがあらゆる退路を潰せ」 フリンチ 「ウッノ ウッノ」	

423	422	421	420F	420E	420D	420C	420B	420A
森の中	見上げる三人	森へ逃げ込む三人 ——セスナがかすめる——	三人、ワァッと逃げる ——ミニ、爆発——	落下する爆弾	飛行機、爆弾おとす	ルパン、バカ笑い 機に気付くが笑い続ける (T・U) 眼で飛行	軽飛行機、FOLLOW (T・U)	ルパン、バカ笑い
	次元 ルパン 「えれえのを敵にしちまったなあ……」 「なあに……一〇キロも行けばアジトがあるさ」					ルパン 「ワァハ……」		ルパン 「ヒヤハハハ……」

442	441	440	439	438	437	436	435	434	433	432	
次元、同	五右エ門、きわめてインケンな顔	ルパン、ギクッとしてわずかに、ふりむく	次元、強く怒鳴る	次元、石コロをなげ――	ルパン――ブスーッとした顔	五右エ門ふり向き	次元、ふりむきさま焼け板をける ――しゃがみ込んで	ルパン端まで歩く―― 次元、外へ出てくる		地下室から次元が上ってくる。 ――ボトルが落ちて割れる ――次元ビタリと止る	取ると割れている
		ルパン「…………ノ」	次元「よしな……そればかりは言ったつて 五右エ門「そういう貴様はルパンの何だノ　まことの友ならばどうの昔にこやつが悪へきを直してやれた筈ノ」 次元「ヒステリックにわめくな、気狂いノ」		五右エ門「私が許せんのは、貴様のそのみだらな下どころだノ」	ルパン 「しよせん、女は魔性のもの……かノ」 のみならずつまならぬ見栄から与えた恩を仇で受けとるフガイなさ……ノ」	五右エ門「冗談……？ 私も同じ事を考えていた　女から仕事をうけおりのがそもその間違……」	次元「武器も食糧もバアーだ……」 ルパン「ああーノ　一眼で判るよ」			
							次元「ルパン、女と手を切れ―― 今度はかりは、腹に据えかねたぜノ　このアジトを教えたのは不二子に違えねえんだからなノ　そつちがイヤならこつちから手を切らしてもらうぜ」 ルパン「冗談きついぜ……」				

454	453	452	451	450	449	448	447		446	445	444	443
ポツンとテーブル	ルバン、何気なくふりむき、又、前に戻して今度はキッとふりむく	次元、懸命に穴をほつている。 ——あきらめて石放り出しガックリ	ルバン、ハアハアしている	強烈な日射しの荒野 次元、ヒザをつく—— 二人、気付いて立ち上る	荒野——	三人（半シルエット）	朝陽——	セリフ——	ルバン、二人を後に歩き出す	答えない二人。ルバン、二人をみて——	ルバン、ふりむいてから手をふり——	次元、立ち上って
								ルバン 「指でひとまたぎさ、世界地図でみりやあな」	ルバン、止つてボース作つてから	ルバン 「さあ、気元直して行こうぜノ　ここでうえ死にしたかねえだろノ」	ルバン 「俺が悪かったよノ カイシンする、カイシンする、 もう、不二子なんてボーだもんね」	五右エ門「一度……その帽子を刻んでみたかった……」 次元「なんだと……」 五右エ門「ハゲでもかくしているのかと気になつてな」 次元「やるかい……」 ルバン「イヤ——、参った参ったノ」

473A	472	471	470	469	468	467	466	465		464	463	462	461	460	459	458	457	456	455
小屋全体が見えてくる	次元	小屋（屋根の部分）	ルパン	小屋がせり上ってくる	ルパン	三人	焼けた跡	次元、五右エ門、見てくる	スーッと消える	水差しから炎がふき上がる テーブル焼えて	次元、五右エ門、見ている	ルパン、水差しに手をかけようとする	テーブルクロス	同	歩くルパン	五右エ門、キッとふり向く	水差しの表面の水滴がツツとたれる	水差しがあつてテーブルクロスがゆれている（スローモーション）	ルパン、ジッと見る
	次元 「どうせ、先まわりされてるさ……」		ルパン 「ありゃ……小屋だな」				ルパン（off） 「逃げてもムダだって言いたいんだろうぜ」	次元 「ルパンノ」 五右エ門 「何事だノ」 ルパン 「敵さんのデモンストレーションさ」								五右エ門 「ルパン……?!」			

495	494	493	492	491	490	489	488	487	486	485	484	483	
ルバン、不二子、次元を見る ——ルバン叫ぶ	次元、背を向け歩き出す ——ルバン叫ぶ	次元、ルバンの胸ぐらをつかみ手をふり上げ叫ぶ—— ——次元、突き離す	片手をふり ツツツ——と次元に近寄り	次元	五右エ門、背を向け歩き去る それを見て次元	五右エ門「水いつきあいだったな……もはや二度	ルバン	深刻な五右エ門	ルバン、ヨタル感じて 不二子にチラッと眼をやる	次元	ルバン、ふりむく 立ち上って	背後から次元の声 不二子、ルバンにダキつき	ルバン、不二子 不二子、ルバンにダキつき
ルバン 「そうそうノ その調子で真つすぐ行き きやあ無事に海に出られらあ…… 国へ帰ったら頭丸めて坊主にでもなんなノ 一生御清潔に生きられるぜ——ノ」	ルバン 「お前らの口うるさいのはあきあきし てたところなんだ いけよノ ホラ、お前も行っちゃまえノ 行けっつてんだよオノ」	次元 「ルバン……ノ」	ルバン 「お前らの口うるさいのはあきあきし てたところなんだ いけよノ ホラ、お前も行っちゃまえノ 行けっつてんだよオノ」	次元 「ルバン……ノ」	次元 「ルバン、判つたらろノ 呼び戻すんな ら今のうちだぜノ 聞こえねえのか？」 「聞こえてるよオ——」	ルバン 「……」	ルバン 「……」	ルバン 「けどさあ……」	ルバン 「返答次オでは覚悟がある」 ルバン「あんなあ……大人気ないぜ、女くれえ の事でさあ」	次元 「本気なんだぜ」	五右エ門「返答次オでは覚悟がある」 ルバン「あんなあ……大人気ないぜ、女くれえ の事でさあ」	ルバン 「くそオ……うらやましい……ノ 俺だ つてなかなかそんな景色にゃあ——」 不二子「助けてルバン、石なんかもうどうでも いいから」 ルバン「よしよし、不哀想な子猫ちゃん」 次元(off)「ルバン、女から離れろノ」	ルバン 「くそオ……うらやましい……ノ 俺だ つてなかなかそんな景色にゃあ——」 不二子「助けてルバン、石なんかもうどうでも いいから」 ルバン「よしよし、不哀想な子猫ちゃん」 次元(off)「ルバン、女から離れろノ」

[illegible]

	521	520	519	518	517	516	515
222 223 224 欠	ルバン、真上から落ちる	不二子、目パチクリ	ルバン、両手を合わせ、飛び込む ポーズ	不二子、オドロク	ルバン、モーションから ——パンツが空中に残って	不二子、ギョッと飛び起きる。 ——破目板が割れて——ルバン、 フワリと侵入——毛布をはらいの ける	ルバン、オノをもつて—— トビラを破る
	S・E 不二子 「きやっ……ル、ルバン、ルバンつたらノ」	不二子 「……………」		不二子 「あ——っ」			ルバン 「ようーし、食ったぞノ こうなったら もうガゼン暴力にうつたえちゃもんね」

514	513	512	511	510	509	508
フライバン、放り出す	ルバン、フライバンをもつて食べ はじめ	フライバン	ルバン、ひっくり返る	ルバン、ひどい顔で—— スルスルと口を突きだす ——バンノ と張り手	不二子、眼を閉じる T・U ——チラッと盗み見る	ルバン 「悪かったよ不二子……心から愛してい ないんだ……」
	ルバン 「チェッ、なんでえ、さんさん人を誘惑 しといてよォー。どうせ俺はアランド ロンにやなれねえよ、アーいやだいやだ、 そんなに齒の浮くようなセリフが聞きた いかねえノ」				不二子 「ああ……ルバンノ」	

540	539	538	537	536	534	533
次元、走りながら銃を抜く	次元、セスナを追う—— セスナ上昇しはじめる	次元、ハッと身を固くする ——走り出す	滑走し始める——	フリンチ、セスナに乗り込む	車輪ゴシ、フリンチがルパンかついでくる 不二子が追ってくる 不二子、フリンチの横に来て見る フリンチ、ルパンを放り込む ——不二子も	着陸している軽飛行機 ——プロペラ回っている
					不二子 「フリンチ、待ってノ 大事なお客様なんですからね、もつとて いねいにあつかってノ」 フリンチノ 「きやつ——」	

532	531	530	529	528	527	526	525
次元 T・U	次元、歩き出す (FOLLOW)	背を向け立ち上っている次元 ——振り向く	不二子、目をルパンに目をうつす	——表情が变つてブラジャから超小型発信器をとりだす——アンテナを引き出しボタンを押す ——ランプが点滅しはじめる	欠	不二子、小ビンを見ている	ルパン、大いびきをかいている
		次元 「不二子め……田舎芝居もほどほどにしやがれノ」	不二子 (off) 「フフ……ルパン、ごめんねこれも皆、あなたのためなのよ……」			不二子 「あ~~~~あ……、こんなに強い薬と知っていたらもうちょつと手減しとくんだったなあ……」	ルパン 「フガ~~~~ッ」

556	555	554	553	552	551	550	549	548	547
次元、人混みから出てサッとしゃ	ゴードン	次元	尾行しているゴードン	次元、歩きながらチラッと横をむく	次元、果物屋からオレンジをくすねる——かぶりつきながら歩く	次元、せまい路地に入って行く	次元、公園で昼寝している。 T・U	ドンキホーテの像 T・U	街頭・次元歩いている
									<p>ハンド・トーカーの声(off)「〇時〇四分、マドリッド市内に入った、目標は不明ソル広場に向かう、行動に不審な点は認められない</p> <p>——十三時一〇分から約四十五分全く動きなし</p> <p>——十四時ジャスト……通りに向かう</p> <p>——依然として単独行動、目的も、</p> <p>見当がつかめない。予定の時間が迫っている。これより作戦にうつるノ」</p>

546	545	544	544C	544B	544A	543	542	541	540B
華麗な演技	牛、走る	マドリッド・闘牛場 (PAN・DOWN)	落ちてくる紙キレ FOLLOW	次元 T・U	セスナ、雲間に消えていく ——次元、銃をしまうとチラチラと紙きれが落ちてくる	見送る次元	セスナ、片輪がおちる	次元、セスナをねらい撃つ	飛んでいるセスナ
				次元 「……………」	次元 「くそっ……」				

569	568	567	566	565	564	563	562	561	560	559	558	557	
ボタンと音がして二人の影が入ってくる	次元、五右エ門 窓の外を上昇していく	一機上昇する	主輪（ガラス越し）	空母甲板・手信号のオペレーター	デッキの上に戦闘機がピッシリの空母	軍用ヘリ・次元が中からみている	次元、驚いた声で――	数人の兵士が、五右エ門と次元に銃口を向けている	次元、ゴードンに銃口を突きつけている	ゴードン、アゴを銃口で突き上げられる	ゴードン、露地の所へ出てキョロキョロ――露地をのぞくとえり首をつかまれて引き込まれる	Fr・O ゴードン、ハッとして立ちつくす――慌てて人ごみを走りぬける	がみクツのヒモに手をやる
ゴードン「立てノ　スタッキー大統領特別補佐官	次元「レッキとしたアメリカ海軍さんか……」 五右エ門「非現実的だ……私がこんなものにかかわる事じゃない……」 次元「ヘッヘッヘッ……非現実的なのは俺達の方かもしれないねえ……」					ゴードン「さ、大人しく来てもらおうか」	次元「ゴ、ゴエモン……」		次元「フリンチって野郎は、お前か？」 ゴードン「いや、違う、私はゴードン、君は次元君だね？」 次元「気易く名を呼ぶな、さつきから何の用でユソユソと……」				

578	577	576	575	574	573	572	571	570	
静かに耳を傾けて聞くスタックキー	テープスタート	テープレコーダー マモールの声に合わせてメーターが動く ゴードンの指がストップボタンを押す	聞いている次元	ゴードン・スタックキー T・U	テープレコーダーの声	テープレコーダー・リールを調整してボタンを押す —— クールが回り始める	壁の世界地図がバツと発光する	窓シャッターが閉じはじめる	ゴードン、セリフ後壁のスイッチを押す
マモール (off) 「地上最高の叡知予言者……あるい	マモール (off) 「そうだ……私だ……マモールだ」 声 A (off) 「マモール？」 声 B (off) 「君は……何者だね」	スタックキー「これは一ヶ月前の録音だ、会話している二人の人物について説明の必要はあるまい私達の知りたいのは、ホットライオンに突然割り込んだきた謎の脅迫者についてだ……」 声 B (off) 「申しあげておきますが、それは我々の関知しない事です」 声 A (off) 「判っています」 (やや間) 声 B (off) 「では……やはりあの男が……」 マモールの声 (off) 「そうだ……私だ……マモールだ」	が単なる脅しでない証拠にと通信衛星をいくつか破壊されました」 声 A (off) 「私も同じ脅迫を受けましたよ、それ	声 B (off) 「生化学・細胞学・遺伝子工学などのすべての技術成果を提供せよ。拒否すれば核ミサイル攻撃をすると……」 声 A (off) 「私と同じ脅迫を受けましたよ、それ	声 B (off) 「大統領ノ お国の機関の統制はとれているのですか？ 私は脅迫をされたのですぞ」 声 A (off) 「書記長……ノ」	次元 「つまりな……世界で一番えれえ男をあやつっているおっちゃんだと……」	五右エ門「何と言った？」	だノ」	

583	582	581	580	579
タバコをふかす次元	スタッキー、眼がねをふきながら	次元、タバコに火をつけて	次元、スタッキーの方を向き	次元、タバコを引き抜く ゆつくり口にくわえる テーブル止りの音
(off) スタッキー「無い筈はない、マモーの要求には三つほど奇妙なものが含まれていたが、それらはすべてルパンによつて盗まれていたのだから……」	次元「そうかい……ま、俺達にや何の関係もねえ話だ」	次元「続けろよ……」 スタッキー「この先は、あまりにも重大なのでね……とにかく彼の脅迫が口先だけでない事は確かだった……」	声A (off) 「神? 気は確かかね」 声B (off) 「神とあるうものが妙な要求をするんじゃないか」 マモー (off) 「要求? これは、命令だよ、お二人とも世界の成り立ちがどうなっているのかを知らねばきつと判ると思うがね」 S・E (ガチャリ)	は神と呼んでもいい

589	588	587	586	585	584
ゴードン、次元の胸元をつかむ	欠	ゴードン、机を裏がえしにしてしまふ	ゴードン、紙を光にすかしてみる	次元、肩をすくめて ゴードン、詰めよる 次元、紙キレを取り出す ゴードン、紙とつて	眼がねをかけ、ふりむくスタッキー
ゴードン「ゴウモンの手は、数限りなくあるんだぞ、カタログをみせてやるるか」		ゴードン「ふ、ふざけるな……っ!!」	次元 (off) 「ルパンの手がかりさ」 奴をたぶらかしてた女の字なんだが……水って書いてあるだろう」 ゴードン「何の事だ?」 次元「それが、判りゃあお互いに苦労はねえさ」	次元「じゃーん、じゃーん知らねえな」 ゴードン「隠しだするとためにならんぞノ貴様らはルパンとずつと行動を共にしていた筈……」 何だ……こりゃ」 次元「ルパンの手がかりさ」 奴をたぶらかしてた女の字なんだが……水って書いてあるだろう」 ゴードン「何の事だ?」 次元「それが、判りゃあお互いに苦労はねえさ」	本題に入ろう、マモーの本拠地はどこにあるのかね?」

596	次元、紙を見ながら	次元「なるほど……こういう事だったのか」 五右エ門「読めるか？」
597	・カリブ・の文字が出かかってい る（まだ読めない）	
598	欠	
599	次元	次元（M）「カリブ……カリブ海か？」
600	カリブの島（夜）	S・E （波の音）
601	アーチの向こうは海—— ルパンがオリの中で寝ている	
602	番をしているゴーレム	
603	大広間に吊るされている鳥カゴ	
604	月が雲にみえかくれ	
605	ルパン、眼をあける—— みるみる顔が変っていく	

595	紙色に変色していく	
594	五右エ門、下を見て、 次元、歩みよつてのぞき込む	次元「宗旨変えせずに済んだか……」 五右エ門（off）「次元…… みる……っ水だ」
593	次元、エリを直して	次元「我々は、違った角度からアブローチ してみる、君達はすぐに釈放しよう」 ゴードン「民主主義に感謝するんだなノ」
592	二人、出て行く	スタッキー「ゴードン、彼らは、本当に知らんよ うだ」
591	スタッキー起き上つて、ツカツカ とゴードンのそばに歩みよる	スタッキー「ゴードン、こ、このオ……っノ」 スタッキー「ゴードン、彼らは、本当に知らんよ うだ」
590	次元、タバコをすてて	次元「長え事、モンローとハンフリー・ポガー ドのファンだったのが今日限りだ」 ゴードン「こ、このオ……っノ」
	突き離す	次元「おたくの民主主義って奴か。それなら 俺にも考えがある」 ゴードン「何だ……？」

615	614	613	612B	612	610
ルパン、ゆつくり歩き出す	あらゆる様式の建築物がひとかたまりになつている（メチャメチャな都市）	ルパン、奥から出てくる—— 立ち止りポーズとする	出口へ	走っているルパン（FOLLOW）	<p>ゴーレム、出てきて戸を閉めようとする。——（その背後へルパン現われて） ——（ルパン、カギを盗みゴーレムをオリの中へけとばす） ルパン、すばやくカギをかける</p> <p>ゴーレム、オリをねじ曲げてわめく</p>
					<p>S・E ルパン 「うっし、最も原始的な手で引つかか つたか」 ゴーレム「ウギャーッ~~~~ウガーッ」</p>

609	608	607	606C	606B	606	
<p>ゴーレム、カゴに入ってくるがルパンはスヤスヤ寝ている。 ——しばし、にらみつけて揺さぶる。顔を張る ——ルパン起きない—— 不思議そうに頭をかく</p>	カギをあける	カゴ、完全におりる	<p>カゴにふりむくと——ルパン、バタリと倒れる —— ゴーレム走り寄りボタンを押すとカゴが下ってくる</p>	<p>ゴーレム、飛び起きてキョロキョロする</p>	<p>いきなりハネ起きて遠吠え ——犬のようにハネ回る</p>	<p>凄じい形相になる</p>
					<p>ルパン「ウ~~~~ッ、ウ~~~~ッ、 ワオ~~~~ン!! ~~~~~ ワオーワオワオ~~~~ ッ」</p>	

632	631	630	629	628	627	626	625
欠	ダリ的、空間を逃げる	マグリットの風景を逃げる	ポール・デルブオ風の所を逃げる	エッシャンの絵とそっくりな所を追いかけて	走ってくる—— ルパンあわててゲートへ逃げる。 出たり入ったりの追っかけつこをはじめる	ルパン、ひっ込むが、傍にあった物をひっくり返す。 ——フリンチ、キッと見て——	ゴーレム、あたりを見わたしている

624	622	621	620	619	618	617	616
キリコの絵とそっくりの風景——少女、通りすぎていく—— ルパン、キヨロキヨロしていると奥に巨大な影——あわててかくれる	ルパン、キヨロキヨロしていると背後の露地を少女がかすめる	ルパン、追う	輪回しの少女が通り過ぎる	ルパン、物音にふりむく	大ゴシック建築がみえてくる (FOLLOW)	ギリシャ神殿の様な所 (FOLLOW)	ルパン、階段をおりる (FOLLOW)
		ルパン 「あつ……ちよつとオノ」					

650	649	648	647	646	645	643	642	641	640
ルパン (FOLLOW)	階段上の建築物	登るルパン	欠	ルパン、登り出す	西洋風の建築物が階段の上にある	ふりむく ルパン、反射的に叫ぶ	ヒットラーそっくりの男	ルパン、歩いていると男と鉢合わせ	ギリシャの哲人
						S. E ルパン 「こりゃ……事によると……」 (ポロロ……ンノ とハープの音)			

639	638	637	636	635	634	633
中世の貴族達	平安時代の牛車を通りすぎて行く、 ルパン、ボーゼンとしている	ルパン、建物に入つて来、あわてかくれる	ひずめの音、男、走り去る T. B.	ナポレオンそっくりの男	馬に乗っている男がいる —— ルパン、ギクリと立ち上つて、あたりを見回してからセリフ—— 男、ふりむく	ゴーレム、キョロキョロ—— 下にルパン
					ルパン 「あの……、ちよつとおたずねしますが……」	ルパン (M) 「くそォ……眼がさめたらただの夢……なんてワケでもねえようだしなァ……」

663	662	661	660	659	658	657	656	655	654	653	652	651
途中で落ちる	ルバン、歩き出す	マモー、空中に立ち、歩きはじめ ルバン、足でトントン確かめて立つ	ルバン、後ろから、マモーをつかまえようとすると、身をかかわされる	手を後ろに組み、歩くマモー	ルバン	マモー、立ち上り歩き出す	ルバン	セリフ終つてふりむくマモー	ルバン	マモー、肩で笑う	ルバン、立ち止る	ハーブを弾く男が見えてくる
		マモー ルバン	マモー ルバン	マモー ルバン	マモー ルバン	マモー ルバン	マモー ルバン	マモー ルバン	マモー ルバン	マモー ルバン		
	「ハハハ……えんりよする事はないんだよ、ルバン」 「クソォ……」 ハハハ……	「ハハハ……えんりよする事はないんだよ、ルバン」 「クソォ……」 ハハハ……	「ハハハ……えんりよする事はないんだよ、ルバン」 「クソォ……」 ハハハ……	「ハハハ……えんりよする事はないんだよ、ルバン」 「クソォ……」 ハハハ……	「ハハハ……えんりよする事はないんだよ、ルバン」 「クソォ……」 ハハハ……	「ハハハ……えんりよする事はないんだよ、ルバン」 「クソォ……」 ハハハ……	「ハハハ……えんりよする事はないんだよ、ルバン」 「クソォ……」 ハハハ……	「ハハハ……えんりよする事はないんだよ、ルバン」 「クソォ……」 ハハハ……	「ハハハ……えんりよする事はないんだよ、ルバン」 「クソォ……」 ハハハ……	「ハハハ……えんりよする事はないんだよ、ルバン」 「クソォ……」 ハハハ……		
	硬貨ガラスなんて手にゃああきあきしてんだよ。 サァー、案内してもらおうか、あ~~~~っ……」	硬貨ガラスなんて手にゃああきあきしてんだよ。 サァー、案内してもらおうか、あ~~~~っ……」	硬貨ガラスなんて手にゃああきあきしてんだよ。 サァー、案内してもらおうか、あ~~~~っ……」	硬貨ガラスなんて手にゃああきあきしてんだよ。 サァー、案内してもらおうか、あ~~~~っ……」	硬貨ガラスなんて手にゃああきあきしてんだよ。 サァー、案内してもらおうか、あ~~~~っ……」	硬貨ガラスなんて手にゃああきあきしてんだよ。 サァー、案内してもらおうか、あ~~~~っ……」	硬貨ガラスなんて手にゃああきあきしてんだよ。 サァー、案内してもらおうか、あ~~~~っ……」	硬貨ガラスなんて手にゃああきあきしてんだよ。 サァー、案内してもらおうか、あ~~~~っ……」	硬貨ガラスなんて手にゃああきあきしてんだよ。 サァー、案内してもらおうか、あ~~~~っ……」	硬貨ガラスなんて手にゃああきあきしてんだよ。 サァー、案内してもらおうか、あ~~~~っ……」		

676	675	674	673	672	671	670	669	667	667	666	665	664
アクアラングの銭形	船底	五右エ門	次元	船の甲板・次元と五右エ門	島が見えている	ヨシトが進め（クルルル） 今夜明かす	立ちつくすルパン	回りに何人ものマモーが立ち次々としゃべり出す	ルパン、ピッとふりむく	ルパン、立ち上って	ドターッと落ちる―― 腰に手を当てているルパン	落ちていくルパン（FOLLOW）
銭形（M）「フッフフ……、たとえカキの如く身をやつそうとも、必ずルパンめの息の根をとめてやるぞ」		五右エ門「馬鹿を言え、ルパンを他人に殺させたくはない、それだけだ」	次元「何だかんだと言いながらもルパンが心配か、くされ縁は切れそうもねえようだな」	五右エ門「謎の大富豪か……それにしてもルパンめ女に手もなくだまされるとは情けない……」 次元「ヘッヘッヘッヘ……」 五右エ門「何がおかしい」	次元（off）「あれだ、このカリブ海で個人所有としては、一番でつけえハワードロックウツドの島さ」			マモー（1）「私を倒せるのかルパンノ」 マモー（2）「一人にして無限なる私をノ」 （3）「不可能だノ」 （4）「神に逆らうようなものだルパンノ」 （5）「私は、死を超越しているのだから……」	マモー（off）「ハハハ……強がりはやせ、ハハハ……」	ルパン「どこだーマモーノ、こうなつたらテッテイ的に痛めつけてやるからな、覚えとけ」 マモー（off）「ハハハ……」	マモー（off）「フフ……私を追ってもむだだルパンノ」	ルパン「ワ~~~~ッ」

693	692	691	690	689	688	687	686	685	684		683	682	681	680	679	678	677
ルパン（後ろにぼんやりとしたカ プセル）	ルパン、ドアを開いて飛び込みし める	下をのぞくルパン	石をのぞく研究者	光線が当たっている石	数人の研究者達が見える	のぞき込むルパン	ルパン	欠	地下濠を歩くルパン		ルパン	大地下濠	ゴードン、受話器をとり話す T・U	ゴードンとスタッキー	リーダーを見ているゴードンとス タッキー	衛星	進むヨット——雲がいつばいにな つて——球面になつていく ——スパイ衛星
										あつてやるかノ			ゴードン「私だ、作戰準備にかかれノ 目標は、世界一の億万長者ハワードロッ クウッドの島だノ」	ゴードン「くそ……やはり奴らは知つてたんです なあ」 スタッキー「ゴードン、そろそろ始めよう」 ゴードン「はっ」			
											ルパン（M）「案の定、地の底は機械仕掛か、 不二子の奴、とんでもねえ野郎にかかわ りやつたもんだ——ま、とことんつき						

	711	不二子	不二子 「あア……いよいよ夢がかなうのね」 という事さ」
	712	マモー、不二子 セリフ後、マモーがふりむく	マモー 「うれしいかね」 不二子 「決つてるじゃない。フフ……ルパンもさぞかし驚くでしょうね。それが現実となつたら……」
	713	マモー	マモー 「不二子……」
	714	不二子、眼をあげる	不二子 「……？」
715		マモー、不二子	マモー 「ルパンは、永遠の生命など欲しくない そうだ……」 不二子 「フフ……、ホホ……彼ならそう言うに決つてゐるわ、だから内緒にしておいたのよ、その時がくるまでは——」 マモー 「不二子……彼をどうするかは私にまかせてくれないか」 不二子 「どういふ事……？」

716		マモー	マモー 「永遠の生命を得るにふさわしい人物とは思えない」
717		不二子、マモー	不二子 「ホホホ……マモー、何を急に言い出すの？ 約束は約束でしょう、きちんと守つてくれなくちゃあ」 S・B (ブーッ)
718		マモー、テレビに目をやる	科学者 「報告します、賢者の石の分析が終了しました」
719		欠	
720		欠	
721		科学者達(テレビにマモーの顔が映っている)	マモー 科学者 「おお……で、結果は？」 「すばらしい効力です、放射線の細胞活性化現象は……」 実にきれいだつたものがあります、このサンプルの効力は、およそ……」
722		スクリーン・(科学者) 背後からルパン顔出してポカッとやる	

739	ルバン、不二子								
738	ルバン								
737	不二子 顔を出す								
736	驚き顔のルバン								
735	背後から、手がのび目かくしをされ、あわてる								
734	当りを見渡す								
733	ルバン、キョロキョロしている								
732	階段をかけ上る								
731	当りの気配をさぐる								

730	729	728	727	726	725	724	723	722B
追つてに身をかくす	ルパン、飛び歩く	フタを閉めるルパン	ボウゼンと見送るマモー	不二子、奥へ走り去る	マモー、不二子を見て	不二子、ルパン	スクリーンに映っているルパン―― ――ルパン消える	驚き顔のマモー、不二子
					マモー 不二子	不二子	ルパン 「やい、マモー、……石は貰つたぜ、どつかお前の知らねえとこに捨てちまうかな」	マモー 不二子 「おおつ……」 「ルパン」
					「見たかね不二子、あれが奴の本性だ」 「フフ……」 「つた……」	「ああ、ルパン」		

750	749	748	747	746	745	744
落ちて、ゴミの山から首を出すと、フリンチが落ちてくる	落ちてゆくルバン、不二子	ダスターシュートのような穴 ——ルバン、不二子飛び込む ——フリンチ Fr・I	ルバン、不二子、石段を尻ではずみながら落ちる ——フリンチ後を追う	入口のかけにかまえているフリンチ——ルバン間一髪逃れる	ルバン、不二子をダイて猛スピードで宮殿へ	ルバン、不二子をダイて逃げ回る。 数人の追っ手、鉄球、オノなどをビュンビュンふりまわしている

743	742	741B	741	740	
欠	欠	追つての一人、大カナヅチを振り上げる——ルバン身をかかわす	ルバン、見送ると、不二子引きよせる	庭園をかけぬけるフリンチ、手下達	急に、ルバン、不二子の手を引っぱる。 ——フリンチらが追ってくる
			不二子 ルバン 不二子 ルバン		ルバン 「バカいえ、俺はだなぁ……」 不二子 「きゃっ、何よォノ」
			「ね、ルバン、永遠の若さが手に入つたのよノ」 「まだ寝言を言ってるのか」 「何よノ 少しはうれしそうな顔をしたうどうノ」 「うれしそうって……ヒヒ……ま、そうだなこのさいたっぷり楽しんどくかノ」		

765	764	763	762	761	760	759
ルバン、目をバチクリして——不二子ゆっくり起き上る	マモー、のり出して	ルバン、不二子を押し倒して——	マモー	ルバン、不二子にキスしようとしている	マモー	上昇する床の上、ルバンにじり寄る——不二子笑いながら抵抗しているうちに静かに止る
ルバン 「おんや……、マモーのつつあん？見てたの……？」	マモー 「いい加減にしたまえ！」	ルバン 不二子 「もう限界だもんね不二子オ~~~~」 「あ~~~~ん」		ルバン 不二子 「もうガマンでなくなったりして……」 「あ~~~~ん、くすぐっちゃう！」 「ウッヒャヒャヒャ……」		ルバン 不二子 「いいじゃないかよオ——このさくら」 「だめだめ！」 「こいつ~~~~」 「あ~~~~ん、助けて~~~~」

758	757	756	755	754	753	752	751
エレベーター	上昇していくエレベーター ルバン、不二子笑っている (FOLLOW)	ルバン、不二子の立つ部分、上昇し始める——フリンチ手前で急ブレーキ	フリンチ、近くまで追ってくる ルバン、ボタンを押す	ルバン、不二子（後に、一つのプッシュボタン）	フリンチ、走ってくる	前方行き止り	ルバン、不二子の手を取り逃げる
	ルバン 不二子 「ウッヒャヒャヒャ……さあゆつくり楽しむか」 「アーン、まっつてよ、その前に大事な話があるの！」		ルバン 「よ——し」	不二子 「ね、これボタンじゃない？」		ルバン 「あら……行き止りだあ~~~~」	

780	779	778	777	776	775	774
巨大スクリーンに森が映る——	驚く二人	マモー	ルバン、マモーに近づこうとするが硬貨ガラスにぶつかり倒れる	マモー	ルバン	マモー
マモー	マモー	マモー 声(off) マモー	ルバン S・E S・E (ピーン) (ブザーの音)	マモー	ルバン	マモー
「フフ……お友達だよルバン」		「何だ」 「侵入者です」 「始末しておけ」	「このオ……、人を馬鹿にするのもいい加減に……」 (ピーン) (ブザーの音)	「神の実験さ……私はあれを、一万年も続けてきたのだ……」	「あれと、この石ところで一体何をおっぱじめようってんだ？」	「……」

773	772	771	770	769	768	767	766
ルバン、止って——	欠	マモー	不二子、ルバン——ルバンゆつくりマモーに近づく	イスに腰掛けているマモー	欠	欠	ルバン、立ち上る
ルバン		マモー	不二子 ルバン	マモー			ルバン
「ああ、ピンズメの赤ン坊さえみなけりやあな——」		「気に入ってもらえると思ったんだが……」	「違うのマモー、私はただ……」 「いいんだよ」 「こんなお化け屋敷こさえといて信じろつてのが無理なお話だぜ」	「ルバン、君には失望したよ……」 「不二子お前もだ——まだ私を信じられないうだね」			「豪勢な部屋に鎮座しまして……たいそうなこったな」

791	786	785	784	783	782	781	
ルバン 深刻な顔で こらえきれずに バカ笑いになる	マモー、キッとふりむく—— スクリーンが分割されて、様々な 人物が映る	ルバン	マモー	ルバン	マモー、スクリーンを見て	スクリーンを見るルバンと不二子	次元と五右エ門が入ってくる スイッチを切り替えると銭形にな る
ルバン (off) 「なるほどねえ……そうだったの…… クックククン……」	マモー 「よく聞けノ 彼らは、私の一万年のコ レクションなのだ。政治・宗教・哲学・ 芸術……」 あらゆる分野のすぐれた者達が私の手で 保存され現実致っているのだ……」	ルバン 「本物のバー？」	マモー 「彼は、本物だノ」	ルバン 「と、思い込んでるバラノイアか」	マモー 「彼の相手をしているのは古代中国の哲 人なんだよ」	ルバン 「アテラ……、あいづら……?!」 マモー 「それと、もう一人だ」 ルバン 「ウッヒャー」 とつつあんまで……ウヒャヒャノ こり やいよいよ狂つてきやがつたノ」	

795	794	793	792
ルバン、不二子だき合う	不二子	ルバン	マモー、ルバン、不二子
ルバン 不二子	不二子	ルバン	マモー ルバン 不二子 ルバン 不二子 マモー 不二子 マモー 不二子 マモー
「不二子オノ」 「ルバンノ」	「……………」	「……………」	「何がおかしい?」 「いやあ、あんたの芝居もかなりの芸術品だぜ——いやあ——参った参ったノ」 「ルバン、本当なのよ。あなたも永遠の若さが貰えるのノ」 「何だとオ?……」 「それが、マモーと私の約束だったのよ」 「不二子……残念だが考えが変わったよ、この男は永遠を得るに値しない………すぐに追い出すつもりさ」 「何ですって……マモー?」 「不二子、君だけ……君だけでいい、永遠を生きるのはノ」 「よくないわ……私、よぼよぼのルバンを見たくないもの……」

809	808	807	806	805	804	803	802	801		800	799	798	797D	797C	797B	797	796
次元、五右エ門	銭形と仏陀（次元が見ている）	仏陀	銭形、大きな身ぶりで喚く	欠	天井から物々しいメカが降りてくる T・B	不二子、ガラスを叩く	背もたれが動く	回転して、分解しベットになる		ルバン驚く ボタンを押すと椅子動き出す	足も――	ルバンの座っている椅子から拘束具が飛び出し動きを封じる――	マモ―、ふり向いてボタンを押す	ルバン、不二子	マモ―	ルバン、不二子ベタベタ寄りそう	驚き顔のマモ―
次元	銭形 (off)		銭形「ええい、判らん人だな。ルバンノルバンですよ、私の捜しているのはノ――奴はこの島に必ずいるはず……あんたねえノ――」		ルバン「ワ~~~~ン」	不二子 マモ―			Sノ	ルバン 不二子 マモ―	S・E (ガチャッノ)	S・E (ガチャッノ)		ルバン		不二子 ルバン 不二子	
次元「やばかったなあ……、とつつあんにつ						不二子「やめてマモ―――!!」 マモ―「殺しはしないノ。しばし夢をみて貰うだけさ」				「ああっ――、何しやがる?!!」 「ルバンノ」 「君のその下劣な精神の皮をはいでみた				「大切なのは、戦うことではない。愛することだノ」		「お前、やっぱり俺を愛してたんだなァ……」 「ウーン、判ってくれたア?」 「永遠の若さなんていらねえよなあ」 「そうねえ、愛さえあればね〜」	

823	822	821	820	819	818	817	816		815	814	813	812	811	810	
次元、五右エ門	手前に立ちふさがる男達 ——二人止る	逃げ出す二人(FOLLOW) ——数人が追う	五右エ門斬る	五右エ門 (FOLLOW)	男達(FOLLOW)	次元、マグナムを撃つ	数人の男達がおそいかかってくる (FOLLOW)	手前に男が落下する	五右エ門、スッと着地——	閃光	五右エ門、いきなりジャンプ 剣を抜く	頭上からフワッと人影が落下し てくる	五右エ門、ビクリッと眉上げて——	五右エ門	
次元「見ろノゴエモンノ」 五右エ門「うむ……ノ」					男達「だああ~~~~っ」	S・E (ガーン、ガーン、ガーン)	男達「やあああ~~~~ノ」	次元「フリンチ一味？」			声(off)「ぎえ~~~~っ」		五右エ門「その中に、一つ……二つよこしまなる 者の影ノ」	五右エ門「靈気だ……ここには何か恐るべき靈気 が立ち込めておる。 私は感じる……至高なるパイブレーションを……」 次元「靈気じゃねえノ 毒気にでもあてられ たんじゃあねえのか？」	五右エ門「何をしてたとはなァ——」 五右エ門「次元、お前には、感じられぬか」 次元「何を？」

839	838	837	836	835	834	833	832
ルパン、不二子	グイッとダイヤル回す	マモー	インターホンから流れる声	笑うマモー—— 懸命にボタン類を操作する（フザ ーの音にギクリ）	雲が左右へ別れる—— 安っぽいイメージ	スクリーンが乱れる——	マモー、ボタン操作
マモー	マモー	マモー	声（off） 「報告します、ルパンの仲間が宮殿内に 侵入しましたノ」 マモー 「それどころではない。私の邪魔をする なノ」	マモー 「ハハハ……なんという低俗さ、下劣さ とても見るに耐えんノ」 S・E （フザー音）	S・E （越天楽）	マモー 「さらに奥深く入ってみよう……」	マモー 「ルパンの本質はほぼこれで判る筈だノ」
マモー 「これがルパンのすべてだノ」	マモー 「こうなれば一足飛びに意識の最深部に 迫ろうノ」	マモー 「はは……実に興味深いものだよノ」 ——史上最高の盗賊・怪盗ルパンノ そのいやしい潜在意識が、 いまここにさらけだされるのだノ」	マモー 「まず初めに君がふだんみる夢からのぞ いてみようノ」	不二子 「まあ……ルパンッたら」 マモー 「ハハ……低俗、下劣ノ 天下のルパン 三世も一皮むけばこんなもんさノ」	不二子・マモー 「御用だノ」 「ルパン」	不二子・マモー 「まあ……ルパンッたら」 マモー 「ハハ……低俗、下劣ノ 天下のルパン 三世も一皮むけばこんなもんさノ」	不二子・マモー 「まあ……ルパンッたら」 マモー 「ハハ……低俗、下劣ノ 天下のルパン 三世も一皮むけばこんなもんさノ」

831	830	829	828	827	826	825	824
不二子・マモー	スクリーンに乱れる走査線 めまぐるしくヒンのない映像 が映つていく 何度も銭形の顔 スッ裸の不二子 その他	マモー、ボタン操作	不二子	マモー	実験台にはりつけられたルパン	ルパン	宮殿が見えてくる
不二子・マモー	不二子 「まあ……ルパンッたら」 マモー 「ハハ……低俗、下劣ノ 天下のルパン 三世も一皮むけばこんなもんさノ」	マモー 「まず初めに君がふだんみる夢からのぞ いてみようノ」	マモー 「はは……実に興味深いものだよノ」 ——史上最高の盗賊・怪盗ルパンノ そのいやしい潜在意識が、 いまここにさらけだされるのだノ」	マモー 「報告します、ルパンの仲間が宮殿内に 侵入しましたノ」 マモー 「それどころではない。私の邪魔をする なノ」	マモー 「はは……実に興味深いものだよノ」 ——史上最高の盗賊・怪盗ルパンノ そのいやしい潜在意識が、 いまここにさらけだされるのだノ」	マモー 「報告します、ルパンの仲間が宮殿内に 侵入しましたノ」 マモー 「それどころではない。私の邪魔をする なノ」	マモー 「報告します、ルパンの仲間が宮殿内に 侵入しましたノ」 マモー 「それどころではない。私の邪魔をする なノ」

859	858	857	856	855	854	853	852	851	850	849
地上に爆発	ミサイル発射	戦闘機 (FOLLOW)	森の向こうから戦闘機の大偏隊	大穴があいている	マモー、床に叩きつけられる	計器類が大爆発ノ	ルパンの顔が白熱していく	メーターの電圧がぐんぐん上っていく	不二子、マモーをつかまえて	震動するルパン
S・E (ドカーン、ズドンババ……)						(ズガ ン)		S・E (ウィ ン)	不二子 「やめて、マモーノ」 マモー 「離せノ 不二子ノ」	

848	847	846	845	844	843	842	841	840
マモー叫んでスイッチを入れる	欠	気が動転している パネルによるめき進む	マモー	マモー、動揺して	不二子叫ぶ	スクリーンからT・B	愕然のマモー	乱れるスクリーン いきなり放電して ただ激しく明滅する
マモー 「永遠の眼りにつくがいい、ルパンノ」		不二子 「マモー……ッ」	マモー 「空間……虚無……?! それは白痴の……あるいは神の意識 に他ならない……ノ 許せない……こんな男が存在する事は……」	マモー 「何ということだ、ルパンは夢を見ないノ」	不二子 「どうしたの、マモー?!」		マモー 「あ……?」	

876	875	874	873	872	871	870	869	868
マモー、ユラリと立ち上って銃をぬく	不二子	マモー	マモーが起き上る	見ている不二子 ギクッとふりむく	次元、ルパンに手をかけ、抱き起しかける	次元、ルパンの傍まで近づく	マモーが倒れている—— 傍に不二子とルパン	二人、飛び込んでくる
		マモー 「永遠の若さが欲しくないのかね？」	マモー 「私から離れてはいけない……」	マモー (off) 「不二子……」	次元 「呑気な野郎だノ このクノ忙しい時によ」		不二子 「助けてノ ルパン起きないのノ」	

867	866	865	864B	864A	863	862	861	860
階段をかけ登る次元、五右エ門	宮殿内の回廊——ガラガラと壁面が崩れる—— 次元、五右エ門が通過する	宮殿に命中するナバーム	銭形 ——立ち上る ——手をふっている	銭形、低空飛行にひっくり返る	銭形、走ってくる		~~~~~	爆発
	次元 「くそっ……あのスタッキーとかいうおっちゃんだぜノ」		銭形 「おおっ、あれはまさしくアメリカ空軍ノ さては、警視庁から協力要請があったかノ 兵隊さん、ありがとう」		銭形 「何だ、何だ、何事かあ~~~~っ？」			

890	889	888	887	886	885	884
密林をカケおりの三人 (FOLLOW) バックの森が切れて波止場がみえてくる	追いかける銭形	その前を三人が通過する 銭形一瞬おくれて気付く 戦闘機に向かつて——	燃えるマモ一の都市—— 高笑いしている銭形	急降下する戦闘機—— 爆発——その上を偏隊が横切る	戦闘機、ミサイル攻撃を続ける ——爆発	爆発をつづける官殿—— 次元達、階段を走り降りる
		銭形「ワッハハハ…… もうその辺で結構ですぞノ あとは、この銭形におまかせあれ~~~~ ウン?……ああ、つこらまで~~~~っ」				

883C	883B	883	882	881	880	879	878	877
追って走り去る	見ている——次元らの後を	不二子、マモ一を気にして	不二子、奥にルパンかついだ次元 ——不二子 Fr・O	後退する足——ドサッと倒れる マモ一 不二子、立ち上って走りかけるが止る	マモ一、奥へ吹っ飛ぶ	次元の肩をかすめる 次元、撃つ	マモ一、撃つ	次元、すばやく不二子を押し倒し、ルパンを放り出して銃を抜く
			次元「行くぞノ」	不二子「マモ一!!」 次元「バカヤロウノ」		S・E (ガ——ン)	S・E (ズガ——ン)	

911	910	909	908	907	906	905	904	903	902	901	900
次元	波ギワ、五右エ門、フリンチ	五右エ門、ジャンプ	サーベルをふりかざす	斬りかかる	フリンチ、ジャンプする	五右エ門、別の岩に立っている	五右エ門、後退	斬りかかる	岩を飛びうつて	フリンチ、ふりむく	五右エ門、飛び上り奥に着地
次元「やったノ」											

899	898	897	896	895	894	893	892	891
フリンチ、サーベルを大振り	フリンチ、五右エ門に斬りかかる	着地	飛び下りるフリンチ (FOLLOW)	影がサーベルを抜いて飛び下りる	フリンチ、薄笑いでサーベルをかざす	フリンチを見上げる次元、五右エ門	ピタリと止る五右エ門 —— キッと上を見るとフリンチが立っている	三人、カーブして坂をおりる

929	928	927	926	925	924	923	922	921	920
次元、折れた剣先見て	次元、斬鋭剣の先拾う	次元、下を見ている	フリンチ、海に落ちる	フリンチ、顔ズレ——あわてて戻す	ヒザつく五右エ門 ——次元、来る	ふりむくフリンチ	五右エ門の剣の先端、落ちる	二人、交錯して——着地	斬鋭剣
次元 「ゴエモン……バツカヤローノナマク ラ剣くれえ直せばすむこつたるうノ」		次元 「フ——ッ……」	S・E (ジャバ〜〜ン)	フリンチ「あ……あ……ぎゃ〜〜っ!!」	次元 「ゴ……ゴエモンノ」		S・E (チ——ン)		

919	918	917	916	915B	915	914	913	912
サーベル	五右エ門、ジャンプ	フリンチ、ジャンプ	五右エ門 剣がビビッとふるえる	次元、不二子、五右エ門、フリンチ	フリンチの服が裂けて落ちる	五右エ門——刃がボロボロ	五右エ門、奥の岩に着地	眼をむく五右エ門—— フリンチ、ふりむく
			五右エ門 「いつの日かルバンを斬るためにきた えた斬鋭剣を……ゆるせんノ」		フリンチ「フフ……レザーでなきやこの合金チヨ ツキは切れねえ」			

947	946	944	943	942	941	940	939		938	937	936	935	934	933	932	931	930
ルパン、不二子	次元、笑顔で	煙に包まれている島	銭形、慌てて飛び込む ——爆発する爆弾（水柱）	戦闘機から落ちてくる爆弾	銭形、水面に顔出し——絶叫	地団ふむ銭形—— オールで漕ぎ出す 奥のヨット大爆発—— 波をくらって引っくり返る	ボート行ってしまう	隣りのボート飛び出す	銭形ボートに飛びのる	去っていくボート	銭形走ってくる——ボート走りだす	ボートへ飛び乗る次元、五右エ門不二子	走る銭形	次元、ルパンをかつぎ上げ逃げる——遅れて五右エ門	銭形	次元 銭形の声に次元ふりむく	五右エ門
次元 五右エ門 「まさか、キ機一髪だったなあ……」 次元「チッ……」			S・E （バシャー——ン……） （ドバァ——ン……）		銭形「ギャ——ンッノ」	銭形「し、しまつたあ——、なんたる不覚ノかくなる上は……」		銭形「ウィッ？」	銭形（off）「ワッハハハ……こんな事もあるのかとチャーンと手は打つてあるわノ」				銭形「待て、まて——ッノ」		次元「ゴ、ゴエモン……」 銭形（off）「こら——つ、悪党ども——そこを動くな——ッ」	五右エ門「折れたのは、剣のせいではない、私の腕の未熟さゆえだノ」	

967	966	965	964	963	962	961	960B	960A	959
大粒の涙をこぼす銭形 ぬぐってから、吐き出すように	皿に盛られた料理	総監	箸を止める	むさぼり食う銭形	「ハナコ」内部	日本料理店、ハナコ	サンタマルタ市内	驚き声で	銭形
銭形 「ウッウッノ…… 総監……ノ 私……私は果報者ですノ」	総監 「永い事、日本を離れてつらかったろう ね……少ない予算で さぞかし苦しかったろう……」	総監 「はあ……申し訳ありません。このと ころ何も口にしていないかったもので……」	総監 (off) 「銭形くん……ゆつくり食べたまえー ホラ、タクアンもカズノコもある」	B・E (ガンガンノ) 総監 (off) 「はあ……申し訳ありません。このと ころ何も口にしていないかったもので……」				銭形 「そ……総監……? 警視総監ノ?」	

958	957	956	955	956	955	954	953	951	951	950	949	948
総監	銭形、放心状態	総監前へ出て	銭形、止ってふりむく	銭形の後ろで止り、警視総監が降り立つ	歩く銭形——高級乗用車が近づく	波打際 銭形の足 Fr・I	ヨタリながら歩く銭形	水平線——歩いてくる銭形	置き去りにされているボート	ボート	走り去るボート(やや浮く)	島
総監 「私だよノ 私を忘れたんじゃあるまい ね?」	銭形 「……」	総監 「やはり君が……まさかと思ったが……」		警視総監「銭形くんノ」								

973	972	971	970	969	968
総監、金一封出す	銭形、総監	聞き入る銭形	総監	銭形、目パチ	総監、ハンカチを出す 銭形、受けとり鼻をかむ 正座して
総監	銭形	銭形	総監	銭形	総監
「ともかく、事態は我々のレベルをはるかに越えておる。お、そうそう、総理大臣からの特別報奨金だ」		「私がはるばるこのコロンビアの田舎町まで来たのは他でもない……ルパン追跡をやめさせるためなんだ……奴はある重要な人物に関つておる、これは、国際、いや全地球的問題なのだよ」			「バナが垂れとる」

981	980	979	978	977	976	975	974
銭形	総監が呼ぶ	女中が、ひっくり返る	銭形、茶卓をけとばし走り出す	総監にたたきつけて	銭形、封書を破りすてる	銭形、いきなり笑つて	銭形
銭形(M)	総監		銭形	銭形	銭形	銭形	銭形
「この南米のどこかに……必ずいる」	「銭形く……んっ!!」		「辞職しますノ 私個人資格でルパンめを追いつ出す」	「クク……くそ……っ」	「ハハハ……確か娘さんはトシコちゃんだったなノ もう大きくなつたろう。サア……一緒に日本へ帰ろうノ」	「ルパンを捕えられるのは、私以外にいません……」	「気持ちは判る……」
					「総監、私は断固ノ」	「これは命令だノ」	

983	ホテル	
984	天井の扇風機	
985	机の上のパーコレーター、次元が カップに注ぐ	次元（off）「宿はきたねえが、コーヒーだけは上 物だぜ」
986	窓際に立つ不二子	
987	ルパン、コーヒーを受け取り、ス プーンをかき回す	
988	部屋全景 次元、剣のカケラを放る	ルパン 「五右エ門はどうしたんだ？」
989	ルパン、とつて	次元（off）「とつとつ、斬鋭剣のなれの果てさ」
990	次元	次元 「当分……会いたくねえと……」

はずなんだルパン！

991	コーヒー飲むルパン	ルパン 「……苦えな……不二子の眼もさま してやれ」
992	不二子	不二子 「いいの……ねえ彼、本当にハワード。 ロックウッドだったの？」
993	次元、カップを用意しだす	次元 「何度も言つたろう——鉄鋼。造船。 運輸。報道……世界の富の1-3を支 配するつて程の億万長者さ—— 最近じゃあ古代遺跡の発掘にまで手を出 してる……ま、道楽者だな」
994	不二子、顔を伏せる	不二子 「マァ……ひどいわ、何もかもウソだ つたなんて……」
995	次元 ルパン	次元 「そうともいえねえさ……奴が死なね え研究をしてたのは確かだ」
996	ルパン	次元 「バカいえ、そんな事出来るか」 ルパン 「クローンだ」 次元 「何だと？……」
996B		ルパン 「つい最近完成されたコピー人間製造法 さ——髪の毛でも何でもいい…… とにかく誰かの細胞を手に入れてチョイ

1016	1015	1014	1013	1012	1011	1006	1005	1004	1003
中央から人の顔が次々と通り過ぎる	ルパン	峰の頂きの予言者がぐんぐん近づいてくる	見入る三人	超古代文明都市	マモー	ルパン	マモー、三人の前に	マモーが浮び上る	ルパン

ルパン 「……………」

マモー 「バハハ……さすがだねルパン、
 どうやら私の秘密に
 気がついたらしい」

ルパン 「お……お前本当にクローンなのか？！」

マモー 「お察しの通りさ、だが、私がクローン
 技術を完成したのは、はるかな太古だ
 みるがいい！ 私の一万年の記憶を……！！」

マモーの声「私だ……宇宙の神秘なる力に目覚
 め不死を得た私——自らを生み自らを
 はぐくんだ私だ……！！」

永遠とも呼べる時の流れの中で……

私は、星の数ほどの賢者達と語り合い、
 地上最高の叡知を得るにいたった……

1002	1001	1000	999	998	997	996E	996C	
緊張・次元	緊張・不二子	星が猛烈な速度で流れている	次元	ルパン	不二子、顔を上げる 急に驚きの顔	ルパン	次元	

次元 「な、なんてこった……！！」

不二子 「どういう事？……
 キャ~~~~ッ！！」

ルパン 「髪の毛一本からでも、コピーは作れる
 からなァ………」

次元 「それが本当だとすると前に処刑された
 お前ってのも………」

といじくるだけでそっくりさんができる
 んだ。こいつを、繰り返し返せば一人の人間
 がいくらかでも永く生きることになる」

1034	1033	1032	1031	1030	1029	1028	1027	1026	1025
次元	目をあける不二子	ルパン、手をゆっくりおろす	元の室内	目を伏せるルパン	一面、輝きだす	マモー、小さくなっていく	ルパン、慌てて	マモー	ギョッとするルパン
						マモー 「ハッハッハ……よく考えてみる事だ ハハハ……」	ルパン 「バツカヤロー！俺は俺だ！本物の ルパン三世だぞオ——」	マモー 「処刑されたのは、あるいはオリジナル の方だったかもしれないが……」	

1024	1023	1022	1021	1020	1019	1018	1018	1017
マモー	ルパン	マモーと三人	歴史的場面・歴史上人物	ルパン	次元	不二子	歴史上の出来事が次々と通りすぎ る	マモー
マモー 「ハハ……君は単に不確定性の生んだ 私生児にすぎない——それより君の仕 事を楽にするために……たわむれに創 った君のゴビ——はどうしたかね？……」	ルパン 「大したもんだよな！俺がこの世に生 まれたのもあんたのお蔭ってわけかい？」		歴史は、私の絶えざる干渉によって創ら れたのだ！ 判ったかね、クロインは神に至る道だっ たのだ——」	飢餓を、戦争を与えてやった	欲望を、憎しみを……	新たなる知恵と発明を	そして、次代に人間の世界に干渉する楽 しみを覚えたんだ…… そう……私は気の向くままに	

1049	1049B	1049A	1048	1047	1046	1045	1044	1043	1042	1041	1040	1039	1038	1037	1036	1035
ルパン、ダーンと飛び出す	マモ―、不二子を抱きかかえて	不二子、眼を閉じて倒れる	マモ―の手に不二子の手が合わさ る	ルパン、ボウゼンとした表情	不二子、魘せられた様に歩く	不二子	凄い眼付で不二子を睨む	三人 不二子が気配でふりむいて マモ―、窓の外に立つ	窓の外・マモ―、足から下つてく る	ルパン、絶句	ルパン、穴をのぞく	ルパン、穴を見つける	ルパン、ベッド下を見ながら 次元、のぞく	ベッドの足	次元、見回して ルパン、立ち上り、ベッドのふち にかがむ	時計
	マモ―「不二子は貰っていく………／＼」					不二子「………」	マモ―「来なさい………不二子」	不二子「キヤ~~~~／＼」 マモ―「ハハハ………君の合理精神には感服す るよ………」 だが、それが限界でもある。この世には 理解を超えた信じるしかないものがある のだ………／＼」		ルパン「おまけに、こんな穴まであいている……」 次元「どういう事だ？………」 ルパン「古い手さ………瞬間的にガスで眠らせ 家具ごと外へ運びだす こつた手品を見せたあと、また同じ手で 元へ戻す………奴にとつちや、こんな芸 当は………」	ルパン「………」 次元「………」	ルパン「………」 次元「………」	ルパン「………」 次元「………」	次元（off）「何だ………？」	次元「夢か………」 ルパン「違うな………」	

1068	1067	1066	1065	1064	1063	1062	1061	1060	1059	1058
道路	ルパン、呆然	前のビルが崩れていく	外壁が落ちる	壁がくずれる	揺れが激しくなり床が傾く	次元、突然上下動	弾を込め出す	次元、マグナムを取り出す	ルパン	次元、小さくハアハア……
					ルパン「バカな！」					

1057	1056	1055	1054	1053	1052	1051	1050
ルパン、ソファに座る	ボウゼンとした顔のルパン、次元	遠く小さくなるマモー	ルパン	マモー	マモー、上昇する	次元、ルパンを引き戻す—— ルパン、再び窓へ	マモー、不二子を抱いたまま後ろに去っていく—— 落ちそうになるルパンを次元、止める
		マモー「よからう……神の怒りを知るがいい……！」	ルパン「マモー！俺は信じねえぞ！神様ならインチキなしの奇跡をおこしてみな！この場で掛け値なしの天変地異でもみせて貰おうじゃねえか！」	マモー「ハハ……さらばだ、ルパン！」			

1086	1085	1084	1083	1082	1081	1079	1078
次元	道端に座っている次元	大クレーター	望遠鏡をのぞくルパン	ルパン、望遠鏡をのぞいている	スタッキーとゴードン	スタッキー 葉巻に火をつけ、煙をはく	本を読むスタッキー
					スタッキー「この世を支配する神がいるとすればそれは我々ということがね——」	スタッキー「バッジシステムを強化し、奇襲に備えたまえ……キャッチ次第徹底的に反撃するのだ—— それですべてがはつきりする……」	(off) サイル攻撃かと思いました…… 何しろ、奴の死はまだ確定されていませんから—— スタッキー「彼の示した期限は明日だな」

1077	1076	1075	1074	1073	1072	1071	1070	1069
コミックブックのページ ゴードン、ふりむき……	数人の職員	地震計	町の全景	骨組だけになっていくビル 一本の鉄骨——倒れる	床が裂け、天井が落ちる	崩れるビル	車、横転	車が激突
S・E (ガチャン) スタッキー (off) 「どうやら本物の地震のようだね」 ゴードン「はっ……私はてつきりハワードのミ	職員 「マグニチュードは7.2震源地はコロンビア内陸部と推定されます」	職員の声 (off) 「は……ミサイル攻撃ではありません」		ルパン・次元「ウワ~~~~ッ」				

1100C	1100B	1100A	1099	1098	1097	1096	1095
次元、グラスをおろして	ルパン	次元、カウンターに座りウイスキーを飲む	ルパン	次元	ルパン	次元	ルパン、足元のリュックをとる
次元「あア……………行かねえ！」	ルパン「とねえのか……………」	次元「てめえがマモーに作られたコピーかも知れねえつてのにどこまでうぬぼれてやがんだ！ 奴が神様とは言わねえ……………しかし並の人間にはかないつとねえ化物なんだぞ！」	ルパン「……………」	次元「馬鹿野郎、俺は行かねえぞ！ 今度こそ絶対に行かねえ！」	ルパン「見当はついてる……………奴の発掘したつていう古代遺跡は案外近いんだ！」	次元「な、なんだと？」	ルパン「てめえの言っている事は何もかも……………」 「さ、敵の本拠地に乗り込みだ！」

1094	1093	1092	1091	1090	1089	1088	1087
ルパン、小物をポケットへ突っ込む	次元・ルパン	腕時計を細工するルパン	腕時計	カウンターのの上	次元、イスに腰かける	酒場。カウンターにルパン	破れ窓からのぞいている次元
ルパン「さあ、出来たぞ、ほんのささやかな武器だけだな」 次元「ルパン!! 理屈だ！」	ルパン「あれが、ハワード財団の金で作られたもんだつたとすると地震の原因は大体察しがつくさ……………」	ルパン「町の向こうに、とてつもない大穴があいている。間違いなく地下原子力発電所の跡だ……………」	次元（off）「マモーのやったことだ、夢でも幻でもねえ……………こればかりはお前も認めろしかねえだろう——」	次元（off）「何だ……………どこに行つてたんだ！」 ルパン（off）「あア……………ちよつとな」 次元「でようぜ……………もうコリゴリだ！」			歩く次元

1120	1119	1118	1117	1116C	1116B	1116A	1115	1114	1113	1112	1111
金網ゴシのルパン	金網後ろに遺跡	小さく息ついている	遠くをながめているルパン	山を下るルパン	銭形	銭形が見ている	山	ルパン	歩くルパン	歩き出すルパン	ルパン、顔を戻す

1110	1109	1108	1107	1106	1105	1104	1103	1102	1101
次元	ルパン、ふりむく	次元	ルパン、背を向けたまま	銃をもつ次元	次元、撃つ	銃を抜く次元	イスから飛びおりる次元	次元	ルパン
次元 「……………」	ルパン 「実際、クラシックだよ、お前って奴は……………」	次元 「愛ってのは女のことか？……………」	ルパン 「俺は、愛を盗まれたからな……………」 返しに行かにヤァ……………」	次元 「行くな、ルパン……………」	S・E (バ————ン・バ————ン)			次元 「……………」	ルパン 「……………いいよ、信心深い奴にヤァ向かねえ仕事だ」

1140C	1140B	1140A	1139	1138	1136	1135	1134	1133	1132	1131C	1131B
投げる —— 爆発	スイッチ入れ	ライター爆弾	身をかわすルパン	男、ルパンをねらっている	リュックでなぐる	背後から大ガマ、かがむルパン	ミサイル群	基地内部	睨く	身をかくすルパン	光がもれている
S・E (バア~~~~ンッ)(

1131A	1130	1129	1128	1127	1126	1125	1124	1123	1122	1121
ルパン	降りてくる	ルパン、追う	地下への入口——男逃げ込む	疾走	岩の上にシルエットの男 —— ルパン、飛び出す	ルパン、ガバッと起き上る	砂ボコリ	ルパン、上見て叫ぶ	巨像が落下してくる	歩くルパン
								ルパン 「ウワ~~~~ッノ」		

1161	1160	1159	1158	1157	1156	1155	1154	1153		1152	1151	1150	1149	1148	1147	1145	1143	1142
燃える絵画			燃える彫像			炎を見つめるマモーと不二子	マモー	ルパン		マモー	ルパンと老いたマモー	マモー、不二子	大広間、美術品の山	ランプ砕け、ボォッと揺る	別の大広間、ランプ落ちる	驚くルパン	男の頭巾はぐと、ミイラーのよう なマモー	ルパン、男をつかむ
							マモー	「それからの私は、すべてコピーのコピーだ……」 「お前は、マモーの粗悪品つてわけかい」 マモー 「すべては不死のためだ……」	ナルとして保存した。特殊なリンゲル液に身を浮べてね」	マモー	「百三十代目に至って私は自身をオリジン……」	マモー 「そう……クローンにも限界があったのだ……」 不二子 「限界……？」				ルパン 「マモーノ？」		ルパン 「さあ、ボスの居所を吐いちないな！」

1180	1179	1178	1177	1176	1175	1174	1173	1172	1171B
地下格納庫のミサイルランチャーが動いている	不二子	キノコ雲	都市に核爆発（モスクワ）	都市に核爆発（ニューヨーク）	マモー	ボオッとしかり、地球義となる不二子、キッと見る	不二子、ボタンを押す	不二子	マモー
					マモー「地上におる者、皆死ぬべし！」	不二子「マモー？！」	マモー「ためらうことはない……さあ、押すんだ」		マモー「君にも、その資格が与えられるのだ……」

1171	1170	1169	1167	1166	1165	1163	1162
不二子	球義のボタン	球義の前・マモー、不二子	不二子	マモー	不二子、マモーを見る	炎を見ているマモー・不二子	涙流すマモー
不二子	マモー（off）「さあ……このボタンを押したまえ」		不二子「……」	マモー「行こう……不死の世界へ」	不二子「それで賢者の石を……」 マモー「ありとあらゆる物にすがったが無駄だったよ」 不二子「永遠の若さなんて結局夢なのね」 マモー「いや、別の方法がある」	マモー「クローレンも生物的限界を越える事は出来なかつた……」	マモー

チA

1193	1192	1191B	1191A	1190	1188	1187B	
マモー、進み出て 銃をむける	ルパン	見上げるマモー、不二子	座っているルパン	マモー、ふりむく	マモー、のりだす	マモー、ふりむき	
マモー「よ、よくここまで……」	ルパン「返して貰いに來たぜ、いろいろとな……」	不二子「ルパンノ」 マモー「ルパン?!」		ルパン(off)「ここだよ、ここ!!」	マモー「大統領ノ バカな事を……」 ルパン(off)「ウルセーナア、判つてゐるつて言 つてんだろノ」	ルパン(off)「いや、判っている」 マモー「なんだと……」	反撃するならやってみたまえ、もつとも、 正確な位置すらつかめまいがなハハハハ ……」

1187	1186	1185	1184	1183C	1183B	118	2	1181
マモー	U・S・A、パネル	マモー	マモー、スイッチを押す	マモー	不二子	不二子、マモー	ターが開きはじめる	ミサイル
マモー「私の要求を拒否した当然のむくいさ、	大統領「無茶だ、やめたまえマモーノ」	マモー「大統領ノ 聞えるかね、私だよ、マモ ーだノ」 大統領「き、きこえる!!」 マモー「約束の日だったね、たつた今核ミサイ ルのボタンを押したよ」		マモー「今度は二人が樂園を手にする番さ」		不二子「マモー……?!」 マモー「地球上に残るのは私達だけだ……丁 度アダムとイブのようにね」		

1211	1210	1209	1208	1207	1206	1205	1204	1203	1202B
マモー	マモー	モ 門の内側・ベルトウェイに乗るマ	床に落ちる	ギョッとするルパン ドオッと落ちる	不二子、腕をつかまれる 電流ショック	ルパン、叫ぶ	マモー、ユラリと立ち上る	鉄骨傾むく。ルパン大慌て	呆然のマモー
			S・E (ドサ——ッ)	ルパン 「ふ、不二子オ~~~~ノ わああ~~~~」	不二子 「ルパンノ ああ……………っ!!」	ルパン 「バカノ 早く逃げろ~~~~っノ」	マモー 「不二子……………来るんだノ」	ルパン 「あらら……………ノ」	

1202	1201	1200	1199	1198	1197	1196	1195	1194	
爆発	爆発	吹っ飛ぶミサイル	ルパン	眼をむくマモー	ルパン	マモーの傍に落ちる	天井が崩れる	ルパン	(激しい上下動)
		S・E (ドカ——ン・バァ——ン)	ルパン 「ああノ お前さんの核ミサイルはみんなバァだノ」	マモー 「で、では……………ルパン?!!」	ルパン 「お前さんと同じことよノ 地下原子力発電所をドカ——ンとやったタイミン グにゃア、俺もすっかり参ったけどな」	マモー 「ルパン……………ノ 何をした?!!」			S・E (ゴゴゴ……………)

1233	1232	1231	1230	1229	1228	1227	1226	1225	1224	1223
ベルトウェイに乗る	睨くルパン	走るマモー	ルパン	指から血	ポケットまざるルパン、荒でて手を抜く	マモー	ルパン、飛び出すが這って戻る	顔出すルパン 光線かすめる	ゲートに走り込むルパン	ルパン、飛び降り後退
			ルパン 「……………」		ルパン 「くそ〜〜〜っ、もう武器は品切れか……アチー——ッ！」	マモー 「ハハハ……………遠慮なく入って来たまえ！」		ルパン 「あんにやろう……………クソオ……………」		ルパン 「れれれ……………！」

1222	1221	1220	1219	1218	1217	1216	1215	1214	1213	1212
ルパン、飛び上る	レザー光線	鍵盤押すマモー	ゲートを出るルパン	不二子を降ろし、階段駆けおりるマモー	ルパン	階段を登るマモー、ふりむく	ベルトウェイから降りる	内部	広大な一室	マモー
						ルパン (off) 「まて〜〜〜ッ」				

1257	1256	1255	1254	1253	1252	1251	1250	1249	1248	1247	1246
不二子に近づくマモー	驚く不二子	不二子、眼を開く	よろめき歩くマモー	床に落ちる刀先	ルパン	マモー、もがき苦しむ	ふりむくマモー	燃えるマモー	驚くマモー、反射レーザー顔面へ	レーザー光線、反射する	ルパン、斬鋭剣の破片を突き出す
				S・E (チ——ン)	ルパン(M)「ゴエモン……助かったぜ……」						

1245	1244	1243	1242	1241	1240	1239	1238	1237	1236	1235	1234
ルパンに集中するレーザー光線	レーザー	マモーの指、鍵盤におりる	ルパン、ベルトウェイから降りる	マモー	ルパン	マモー	ルパン	マモー	追ってくるルパン	ふりむくマモー	ルパン
				マモー「はっはっ……君は死を恐れんのだな では最後に教えてやろう…… 処刑されたのはコピーの方さ 君は、確かにオリジナルのルパンだ！ 安心して死ぬがいい！」							

1277	1276	1275	1274	1273	1272	1271B	1271	1270
呆然と見入るルパン、不二子	下から上ってくるカプセル	光が上っていく	壁が割れる	受信機を持ち上げるルパン ——突然上下動	ルパン、不二子を離して	マモー、頭部の受信機	燃えカス	不二子、ルパンに抱きついて
							ルパン (off)「俺を、いや世界中をダメそうとし たんだからな……」	不二子 「彼が……彼が……オリジナルのマ モーだったのね」 「どっちにしろ、奴は神の名を語ったベ テンス師だった事に違いはないさ……」

1269	1268	1267	1266	1265	1264	1263	1262	1261	1260	1259	1258
不二子、駆け寄る	ルパン、歩いてくる	灰が舞う	灰になるマモー	手を伸すマモー、崩れていく	不二子	不二子に迫る	這い上るマモー	マモーの手	不二子、後づさる	倒れるマモー	ルパン
不二子 「ルパン……」				マモー 「不二……子……」							

1296	1295	1294	1293	1292	1291	1290	1289	1288
ルパン、引っくり返る	吹つとばされるルパン	ビリつき	ルパン、右手をグーシと前へ	走るルパン	ルパン、不二子	脳の下部	ルパン、不二子	ルパン、走るが進まない
不二子「ルパン?!」					声 (off) 「どこか遠い宇宙の果て……死を克服した文明がある……私は、そこで不死を得る…… そして、いつか本当の神としてこの地上に君臨しよう……」	声 (off) 「ルパンノ」 声 (off) 「ハハ……さらばルパン」 声 (off) 「どこへ行くノ」 声 (off) 「神の国だ」		

1287	1286	1285	1284	1283	1282	1281	1280	1279	1278
強烈なブレーキ	走り込むルパン——戻される	ルパン、手スリに激突	カプセル直前で押し戻される	ルパン、不二子 前へ走り出すルパン	泡立つ脳	見ているルパン、不二子	泡立つ脳	泡ごしの二人	巨大な脳が現われる 止り、ザアッとアワが立つ
		不二子「ルパン?」		ルパン 「ああ……神様どこるか汚ねえ化物だ つてことがな」	声 (off) 「ハハハ……やつと信じてくれたねル パン!」	ルパン 「そうか……脳ミソになっちまって…… ……このチップケなのでコピーをあやつ つてんだ……」	声 (off) 「私がオリジナルだ」		

1319B	1319	1318	1317	1316	1315	1314	1313	1212	1311	1310	1309
ルパン	脳カプセルが迫ってくる	脳カプセル	不二子	ルパン	出口が近づく	登ってくる	ハンゴ登る二人	ロケット上昇しはじめる	ルパン	不二子	ゆれる不二子
				ルパン 「不二子、出口だ！」					ルパン 「しっかりつかまるんだぞ！」		

1308	1307	1306	1305	1304	1303	1302	1301	1300	1299	1298	1297
不二子、ジャンプ	叫ぶルパン	不二子	ルパン、叫ぶ	ルパン、ジャンプする	ルパン、不二子	キョロキョロするルパン	ルパン、不二子	脳カプセル	呆然の二人	巨大ロケットが見えてくる	脳カプセル
	ルパン 「バカッ、飛べってんだよ！」		ルパン 「不二子、飛べ！」 不二子 「ルパン！」		ルパン 「あれだ！」						

1343	1342	1340	1339	1338	1337	1336	1335	1334	1333	1332
ルパン	ルパン、叫ぶ	ルパン	起き上るルパン	遺跡	太陽・月・地球	太陽面	脳、地球をおおいかくす	月と太陽	散る破片とリンゲル液	脳カプセル爆発
ルパン 「どこだ、不二子ノ」	ルパン 「不二子オ〜〜、不二子ノ」		ルパン(M)「マモー、感謝しな……………やつと死ねたんだ……………」							

1331	1330	1329	1328	1327	1326	1325	1324	1323	1322	1321	1320
腕時計	脳のカプセル	宇宙	ロケット、地球の外へ	第一段ロケットが切り離される	小さくなつていくロケット	上昇するロケット	建築物	される	吹き飛ば	吹き飛ばされる建物	ルパン、這い上り、不二子を引き上げる——カプセル上昇
									S・E (ドバ——ン・バ——ン)		

1360	1359B	1359	1358	1357	1356B	1356	1355	1354
銭形、ひっくり返る	ルパンの足動く	ルパン	不二子	ルパン	不二子	三人	銭形	ルパン
銭形「ああ~~~~っ——	ルパン「そうか……………」				不二子「ええ、してあげてもいいわ、真生目にキッスが出来たらね」	ルパン「これだもんね……………不二子！ 何とかしろ！」	銭形「馬鹿モン！ お前がたとえ100回死のうとそんな事は、問題ではないノ ルパンという人間がいる限り私は、日夜戦い続けるのだ！」	ルパン「見上げたしつこさだねえ……………俺は確か死んだ筈じゃなかったのかい？」

1353	1352	1351	1350	1349	1348	1347	1346	1345	1344
銭形、立ち上って	不二子	驚くルパン 銭形、高笑い 不二子、顔出す	土中から飛び出る銭形	のけぞるルパン	土中から手が出てルパンの足掴む	ルパン、手を伸す	不二子の元へ駆け出すルパン	眼、見開くルパン	不二子の足
銭形「ワ——ッハハ……………どうだルパン、今度こそ俺の勝ちだな！」	不二子「ごめんなさい……………声をたてるなって脅されてたの……………」	ルパン「と、とつつあん——っ？」 銭形「ギャハハハ……………」 ルパン「不二子オ……………」	銭形「ギャッハハハ……………！」						

1378	1377B	1377	1376	1375	1374	1373	1372	1371	1370
大爆発	ミサイル	受話器を持つスタッキー	ゴードン	スクリーン	呆然の三人	戦略衛星	順航ミサイル	多弾頭ミサイル	ICBM
		スタッキー「事が済み次第ここを爆破してくれゴードン? もちろん彼も例外ではない」	ゴードン「ワ——ッハハ……殺せ! 殺せ! 秘密を知っている者は一人残らずマッ殺するんだ!」						

1369	1368	1367	1366	1365	1364	1363	1362	1361	
吹つとふ三人	ルパン、不二子 ミサイル落ちる	ミサイル発射	ボタンを押す指	ボタンを押す指	ボタンを押す指	ルパン、不二子、キッス ルパン、不二子の乳房の先端押す	銭形、慌てている	ルパン、不二子の顔寄る	
	不二子 S・B ルパン					不二子	(off) こ、こらあつ、我輩の眼の前でみだらな真似は許さんぞ……っ! 絶対に、絶対にいかん! ああ……いかん、よせ、なんたる…… ああ……		

1397	1396	1395	1394	1393	1392	1391	1390
二人三脚のルパン、銭形、走り続ける B・G 大爆発	五右エ門、眼をとじて	峰に立つ五右エ門	次元	爆弾——爆発	爆発の中、走る二人	二人、吹っ飛んで落ちる ルパン、銭形	不二子
	五右エ門「それが……奴の宿命！」		次元「どこまでいつても追われる身か……」			ルパン「アラ、ラ……ひでえなあ」 銭形「ワ——ッハハ……女とはああいうもんだ！」 ルパン「とつつあん！」 銭形「ムッ、ひとまず逃げよう！」	不二子「ルパン——っ、早く逃げたほうがいいわよ——っ」

(THE・END)

1389	1388	1387	1386	1385	1384	1383	1382	1381	1380	1379
ゲッとなる二人	上昇していく複葉機	縄バンゴつかむ不二子	ルパン、銭形、走るが転倒 その前を縄バンゴ	複葉機、低空飛行	ルパン	次元	複葉機、反転して戻る	上空を見る三人	ルパン、銭形、不二子 バックに複葉機	不二子、叫ぶ
ルパン「不二子ォ~~~~ッ！」			ルパン「ヒャッホ——ッ」		ルパン「次元——ッ」	次元「ルパン、つかまれ——ッ！」			ルパン「バ、バカ、これじゃどうしようもねえだろう」	不二子「ア——ン、ルパン助けて——ッ！」